(明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

本日本紙八頁

定價 一部賣金五錢 一ヶ月金一圓二十錢 郵税金十五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

議會政治復興目指し 乘出す政民兩黨

提携的氣運を基礎として 共同目的達成に動く

【東京特電四日發】今期議會をもつて議會政治の復興工作上の重大舞臺とする政民兩黨は新春の居鮮くも對議會策を練らうとしてゐる、兩黨の提携問題は各々黨内事情によつて完全なる一致を見ることが豫期されないが舊臘中島男の斡旋による第一回の會合に對し返禮の意味の第二回會合がこの十日午後四時開かれる筈であつてこの會では前回以上にやゝ突き進んだ話合が行はれるものと豫想される、また選擧法問題を中心とする兩黨少壯派の連繫運動は相當根強いものがあり、これらの提携を基礎として來るべき議會劈頭の質問演説において兩黨の作戰をある程度に協定しもつて質問を効果的ならしめ議會政治復興に關する共同の目的達成につきめることゝすべしとの意見が兩黨の間に高まつて來たことは注目すべきものがある

休會明切迫につれ 提携氣運濃厚

但し實際問題では？

【東京四國日發通】政民提携問題も新春に入り又そろ〳〵氣運が動いて來たやうであり熱海、逗子等に滯在中の兩黨幹部の内には個人的に往來して意見を交換してゐる向もある模樣である、而してそれ〳〵幹部が歸京の上で機熟せば又中島商相へ御返しの意味で兩黨首腦部懇談會や或は秋田議長を招待し議會振肅委員懇親會などを催し一層諒解の歩を進める段取りで尚は兩黨少壯派よりなる十六日會も休會明け議會前に懇親會を催し議會政治更生のため申合せする筈であり、かくて議會に臨んだ上政策問題を中心に政民提携氣運は漸次濃厚になり行くものと見られてゐる、唯民政では若槻總裁始め幹部中には政民提攜が現内閣を倒壞に導くことに向つて拍車をかける樣なことになつたら反對だとの意向も相當強く主張されてゐるし又政友會でも尚提攜には足並揃はず殊に鈴木總裁が贊成を表してゐないと云はれてゐるので政民提攜も愈々實際問題となれば一部首腦部の希望通りなか〳〵容易には具體化されぬ形勢にある

兩黨の質問陣

政友

【東京三日發國通】第六十五議會は休會明け劈頭齋藤首相の施政方針の演説廣田外相の外交方針の演説高橋藏相の財政方針の演説がありこれに對して貴衆兩院が一齊に質問戰を開始し政戰が展開されることゝなつてゐる爲め政友會では質問陣を練つてゐるがこの質問戰に於ては財政、經濟、金融、農村問題、産業、時局匡救、外交及び軍事、思想、教育、社會不安の一掃等に關し徹底的に政府の所信を質し黨の具體的方針を明かにせんとする方針で少壯派の中には急激な意見も行はれ黨の大勢を反政府に導かんとする空氣や政黨連繫に依つて政府に農村對策その他時局に即した政策を徹底的に實行せしめんとする空氣もありこれ等の空氣の發展如何に依つては重大な局面が展開される場合が發生しないとも限らない模樣である

民政

【東京三日發國通】休會明け議會に臨む民政黨では松明けの十日頃に若槻總裁邸において質問の順序方法につき打合せ會を開き對議會策の根本方針を決定することになつてゐるが今議會においては四圍の情勢から相當痛烈な質問をなし政府を鞭撻督勵し内外の國策を誤らしめぬ爲め強硬態度に出るものゝ如くである、而して軍紀の振肅問題に就ては黨内に強硬論者多く政民協同動作に依り政黨本來の任務を果すべしと敦圍いてをり相當深刻な質問戰が展開されるものと見られてゐる

貴院の質問陣

【東京四日發國通】貴院が六十五議會に對し最も力を入れんとするのは衆院同樣農村問題と軍事費並に軍部に關する諸問題で殊に農村問題に就いては徹底的な質問をなし首相並に農相に肉薄せんとし質問者は既にその準備を開始した

陸軍論功行賞 四十萬人

【東京四日發國通】滿洲上海事件論功行賞につき今議會に行賞資金として交附公債五千四百五十一萬圓（陸軍三千九百九十六萬二千圓海軍一千五十七萬七千圓、其他三百七十九萬一千圓）發行が提出されてゐるが行賞關係者は陸軍では多門、植田兩中將、下元少將、厚東中將以下第二、九、十一師團、第二十四混成旅團將兵四十萬名に達する

非常時に直面する 我廣田外交の全貌

一九三四年の新方針

【東京三日發國通】帝國の國際聯盟脱退後の多事多端なる對外關係に善處する根本的外交方針は嚢の五相會議で確立されるに至つたが愈々明年所謂一九三五年の非常時に直面するに當り廣田外相は右方針に則り積極的に各國に働きかけることになつたが期待される廣田外交の全貌は左の如くである

一、根本方針としては各國と多邊的折衝を爲し國際間の友好關係を助長す

一、對米關係は一九三五年の軍縮會議を控へ特にこれを重視し先づ兩國々交の親善關係確立の爲め國民使節交換又は相互誤解の一掃に努め來るべき軍縮會議を圓滿成立に導くためには日米間に豫備交渉を爲す用意を有す

一、ソウエートロシアとは北鐵讓渡交渉が暗礁に乘上げ以來怪文書事件等彼の不信行爲續出し最近モロトフ・リトヴィノフの侮日演説ある等兎角面白からざるものあり帝國政府としてソ聯邦の覺醒を待ち全面的好轉を期す

一、對支關係では最近の穩健なる國民政府の對日方針を諒とし當分靜觀を持し必要に應じては直接交渉により日支の親善を圖る

の用意を有す

一、建國三周年記念を迎へる滿洲國とは日滿議定書の精神に基き飽く迄健全なる發達を助長し日滿經濟ブロックの確立を期し以てソ聯邦、支那と共に極東永遠の平和を將來せんとす

一、右の他各國との間に文化的連絡を取るため國際文化事業を促進し相互認識を深める事

一、經濟外交方面では世界經濟の状況に伴ひ英國をはじめその他植民地經濟的國家主義の傾向を…げ等の事實に鑑み…立す

一、對外的には…件最惠國待遇の…義の完備を期待

一、對内的には…し輸出全般に…格の上統制法規…發的輸出統制…的競爭を終熄せ

一、而して關税引…る虞れある市價…的市價の吊上げ…

反露暴徒の鎭壓に 數千名を慘殺

外蒙古暴動の眞相

【滿洲里三日發國通】外蒙古庫倫に起つた暴動は情報杜絶し眞相不明だつたが一日左の通り判明するに至つた、卽ち十一月十八日ソウエート政權を喜ばぬ赤軍兵及び勞働者は蒙古人を使嗾し政權顚覆を企て左庫倫司法大臣、同秘書、蒙古騎兵聯隊長等を首腦者とし暴徒三萬二千蹶起し鎭壓のため北部國境貢賣城駐屯赤軍騎兵三千は飛行機五臺、戰車八臺を動かし進撃を始め首腦者以下數千は慘殺され蒙古人は何れにか逃竄したと

日印新協定の内容 五、六日頃公表されん

【デリー三日發國通】三ケ月に亘つた日印會商に關し印度側では今週一杯で恐らく總ての細目の協議を終へ新協定の調印に先立ち八日頃その實質的實施を見るものと信じられて居り新協定の内容も五乃至六日には公表されるだらうと傳へられてゐる、而して新協定内容に關し印度側の信用すべき情報として傳へられる骨子は左の通りである

一、日本は棉花買付量に關係なく一億二千五百萬ヤードの綿布を印度に輸出し得べし

一、日本が三億二千五百萬ヤードの綿布を輸出するためには印百萬俵の買付を爲すを要す

一、日本が百五十萬俵の棉花を買付けたる場合は最高四億ヤード迄の綿布を輸出し得べし

一、印棉買付量が上記百五十萬俵を越す場合は次年度に繰越すことを得

一、輸入綿布は四品種に區別し品種別間の比率を左の通り定む

生地綿布四十五パーセント、加工綿布二十四パーセント、晒綿布八生地十三パーセント…

滿洲國建設の途上を行く（下）

關東軍參謀長　小磯國昭

第一年度における歳出入の實際とその後の財政推移とに徴すれば、この年度においても第一年度に優るとも劣らぬ歳出入の好轉が豫期され、財政の基礎は年と共に鞏固の度を加へ來つてゐる。一方多年支離滅裂を極めた舊紙幣の回收もその後頗る順調に進捗し、馬占山の發行した馬大洋も既に回收され熱河省の通貨たる熱河興業銀行券も亦回收を終つた、從つて當初豫定した舊紙幣全部の回收期限たる本年六月末迄には、ほゞ豫定通りその回收を完了し得る見込が確立した、かくて國幣の信用は愈々堅く、其價値は完全に維持せられ、しかも安定を續けてゐる、殊に奉天に造幣廠を新設して、銀貨、白銅貨の鑄造を開始して以來、國幣の流通は全國的に著るしくその滑かさを擴大して來た、斯くの如きは滿洲に於ける空前の事實であつて、滿洲國の朝野が通貨の統一安定を以て滿洲國建設の第一と稱してゐるのも決して誣言ではない、財政金融上におけるこの素晴らしい進歩も建國後僅々二ケ年有餘にして招來されたのであつて、嘗てリットン報告書に憤慨した當年に較べたら、實に隔世の感なきを得ない、併し乍ら財政方面に於て…制の根本的改善を企て、國民負…の普遍公平を實行し、毫末と雖…王道政治の名に乖かしめざるは…來に貽された大問題である、また金融の方面に於ても中央銀行の…各種金融機關の整備を計り、以て國民の間における信用制度を確…し、流通經濟の圓滿を期することは、今後に約束された大事業であ…る、新春と共にその計畫施設の…現に向つて邁進すべきである…に、その實現は日本國民の…

滿洲國境風景 (2)

綏芬河

◇…一九二九年の露支紛爭以來問題の多い土地であるが本年春の國慶錄歸順を最後として完全に中央政府の威令が行はれ治安が保たれてゐる。

◇…小高い丘の傾斜面に建てられた町で人口は一萬足らず、大部分はロシア人である、丘の頂きにソ聯領事館があつて赤旗が異彩を放つてゐる、前方が平地になつて見はらしもよい、横道河子に次ぐ景勝の地で居住地としては寧ろ住み心地のよい處だが國境と言ふ言葉がよい響きを與へない、やれ發砲事件だとか、やれ越境だやれ密輸だと末梢神經を刺戟するやうな出來事が續出するので人が居つかない。

◇…在留邦人は國境警察隊員、滿洲國官吏、特務機關員等を除いては殆ど言ふに足らぬ少數である

◇…北鐵の車輛問題で國境の線路が封鎖されて以來、貨物は茲で積み替へられる、北鐵の車と烏鐵の車を並行させて間に板を渡し苦力が一方から他方に運んでゐる、この工賃がかゝるので特産物はワッサルド、ドレフス、カバルキンなどの外商扱ひの歐洲向けに限られてゐる。

◇…露領から食糧難で逃げて來たロシア人が町を時々ウロ〳〵してゐるのを見かけるが昨今あまり數が多いので滿洲國官憲も持て餘し氣味だ、場所柄だけにゲペウが可なり入り込んでゐるらしいが少くも表面は至極平穩だ（寫眞は綏芬河全景）

日英會商も 開始を希望

【ロンドン三日發國通】日印會商が事實上成立したとの報道は三日午後ロンドンに傳はつたが當地の我綿業代表は英國側でも日英會談を急いでゐるので日本政府乃至紡績聯合會から許可電報が到着し次第直にこれをマンチエスター側に傳へ日英會談開始の運びとしたい意向である而して日英會談は日程等を決めず圓卓會議の形式で集ま…

北鐵運賃改正 運動白熱化

【ハルビン特電四日發】昨年末以來白熱化した北鐵の國幣建及び運賃低下問題はいよ〳〵本格的の民衆運動となり各方面の要望が一致したので十日ハルビンにおいて全北滿經濟團體聯合會議を開催することゝなつたが十五日には協和會主催でハルビン市民大會を開き氣勢をあげるといふ…

中央軍敗退 福建軍浙江進入

杭州の人心動搖す

【上海特電三日發】十九路軍と共産軍の混成部隊は中央軍を撃破して浙江省に進入し泰順慶元を占領し中央軍は退却の餘儀無きに至つた、この餘波を受けて中央軍の一部は福建軍に寢返つたこの部隊は數珍軍或は魯滌平の部隊であると見られるが、附近の土匪は赤化さともに形勢は變大化しつゝあり…中央軍の負傷兵の杭州へ後送されるもの多く杭州の人心は極度に動搖してゐる

福建廣東合作 積極的交渉進捗

【上海特電四日發】福建、廣東の合作運動は福建側の積極的交渉に依り進捗しつゝあり、なほ廣西派も加へんとする模樣である

大阪は 廻米で洪水

【大阪特電四日發】年末年始の…地方正米の廻着が著るしく增加することは當然であるが、特に昨年末は…

金子伯爵記 親授式 三上博士に 旭日大綬章

【東京四日發國通】明治天皇紀編纂の大業完成に伴ふ元臨時帝室編修局總裁金子堅太郎子、編修官長三上參次博士の行賞は愈々四日午後一時左の如く宮中に於て金子子に對しては湯淺宮相侍立の下に伯爵の陞爵、三上博士には齋藤首相侍立の上、旭日大綬章の夫々親授式を行はせられた

元臨時帝室編修局總裁 福密院顧問官二位 金子堅太郎
一等子爵 伯爵を授く
元臨時帝室編修局編修官長正三位勳一等 三上參次
授旭日大綬章

エ國璽尙書の 極東訪問否定

【ロンドン三日發國通】エデン外務次官が今回新に國璽尙書の要職に拔擢された結果、一部に種々の臆測が傳へられ其だしきは新國璽尙書が近く極東を訪問し帝國政府に對し聯盟復歸の希望を表明するのだらうとの噂さへ報道さへ傳へるものがあるが英國政府當局は右を出鱈目だと一笑に附してゐる

謝外交部總長

滿洲國建國第三年の年頭に於ける…

四日の初閣議

【東京四日發國通】本年度初閣議は…

張警備司令官

【チチハル三日發國通】…

我漁業借區料の 換算率變更

ソ聯の拔打ち的通告

荒木陸相病狀

【東京特電四日發】荒木陸相は…

肺炎の兆候

【東京四日發國通】荒木陸相の…

うらる丸 五日午前十時…

社説　支那に旺になつた日語學習

通信にもあつたが、支那から來た人の談話によれば、最近殊に、彼の地に於て日本語日本文の學習が旺んになつたとの事である。これは此の五六年前からの傾向であるが、最近殊に旺盛になつたのである。此の傾向は必ずしも北支那に限らず南支那も同樣であるが、北支那にありては日支停戰協定後特に目立つ樣になつた現象である。併しこれは必ずしも日支親善思想が殊に濃厚になつたといふ意味と早合點してはならぬとの註釋がつけてある。蓋し五六年前から殊に日語研究熱が勃興したのは、今まで盲目的に排日をやつて見たが、格別効能が見えないので日本といふ國は一體どういふ國であらうか、今までの見方が間違つてゐたのではなからうかとの反省心が起つて、日本を更めて研究しやうといふ考が起つたのが第一の原因であつた。從來の排日家の中でも、戰には先づ敵を知る必要がある。排日を徹底せしむるには日本を知らねばならぬ。それには日本の新聞雜誌を讀み、その歷史や國民思想を知る爲めに日語日文を知る必要があると公然論ずる人があつた。

◇

尚その外に自國の建て直しの爲めには、日本の明治維新當時及びその後の歷史を參考にするがよい、その爲めに日語日文を知る必要があると考へたのが第二の原因である。それから、日本の學術の發達は頗る高い程度に達してゐるから、それを學ぶ必要があると考へたのが第三の原因である。蓋し、世界に知識を求めればならぬが、殊に科學は支那に未だ發達せず、普及もしてゐない。併しこれを西洋語で學ぶは勞多くして効少し、日本の近來の科學の發達は見上げたもので、決して歐米の糟粕を嘗むるものではない。而して日本語日本文は、歐米語、歐米文を學ぶよりも容易であるといふのである。

◇

以上の理由によりて日本語日本文の研究學習が、五六年前から盛大になつたのであるが、最近に至りては、排日運動は失敗なること識者の間には既に明白になつたのみならず、日本は歐米を相手に、文化、經濟の戰ひを續けて少しもひるまず、國際聯盟を脱しても歐米諸國は一指をも着けることは出來ず、却つて、着々日本から全世界が壓迫されてゐる形になつたことを十分に了知するに至つた。日支停戰後に至つては、益々此の感を深くして、日本に對する驚異の念が殊に高まつた。

◇

尚は注意すべきは、支那自身の產業は發達せず、いかに排日貨をやつて見ても、結局は日本品を容れれば國民經濟が持てない。日本品を容れないとすれば歐米品を容れればならぬが、それは甚だ價格の點で苦痛である。歐米自身が日本品と競爭出來ない狀態にあるのだから、支那はどうしても日本品を容れなければならないのである。故に多數の貿易商店では、從來歐米人を雇傭してゐたのをやめて、日本人のたしかな人物を得たいと考へるのが多くなつたとの事であるから、自然日本語日本文の出來る人物が經濟界に重要視さるゝに至つたとも聞いてゐる。これが殊に日本語日本文の學習熱を旺んならしめた原因であらう。

◇

右の如き次第にて、日語日文の研究學習の盛になつたのは、或は排日に一步を進める目的と爲すものもあり、又は唯、自身、自國の利益の爲めにとの目的を有するのであつて、必ずしも日本と親善の爲めではない。

併しながら、その結果は、彼の國人が日本を理解し、日本との文化並に經濟の關係を深めるわけだから、自然に日本に親しむことにならざるを得ない。この點を考察すれば、今日の傾向は、日支親善の爲めに確實な道程となるべきものとして、甚だ歡迎すべき現象たるに相違ない。

創業十ヶ月を經た 鐵路總局躍進の跡
新線と質的改善とに 將來への發展性確保

【奉天特電四日發】鐵路總局では創業十ヶ月にして新年を迎へたがその間滿洲國の建設は着々と進みむしろ鐵路の量質的發展によつてそれが證明されつゝあるもの丶樣である

京圖線海克線の開通、近くは拉濱線の開通、これ等の延長增加の外其の質的向上は列車運轉時間の合理化、滿鐵社線との連絡的ダイヤの確立、優秀車輛の運轉車內設備改善の一として食堂車の連結、新春早々より列車書庫の設置を見る迄に至り其の外救急設備として簡便な諸醫療器具を備へるとか乘客に對するサーヴイスについては極力改善をはかり顯著な効果を收めて居る斯かる內部的改善を行ふ外乘客にとつて旅の最大の關心事たる匪賊事故に對しては極力その防止につとめ優秀な警乘者を配置し或は裝甲車を配運し鐵路そのものゝ強化をはかると同時に沿線住民に對しては鐵路愛護精神を普及せしめ鐵路の保護安全をはかりその方法として沿線には驛を中心に愛護村の建設に成功して居り又一方沿線住民への直接的慰恵を味はせるべく慰安車を運轉し日用品の廉價提供諸娛樂品の提供施療其他により多大の成果を收めた

一方鐵道機能の最大部分を占めるともいふべき貨物輸送については滿洲奧地住民にとつて重大な必需品である鹽干魚については特別な低賃率を採用し、特產物については新春早々荷主に絕大な便益を與へる混合保管制度を採用する等その奉仕の改善が短時日に顯著な成果を着々現しつゝあるのは一に總局員の努力と手腕を語るものと云へやう

沿線住民の文化的指導、慰安車愛護村活動の外に路立小學校に對する積極的改善による沿線住民の啓發王道政治への動向に對する努力をも見逃すとが出來ないこれ等鐵道經營の附帶事業としての自動車線工作に對する積極的活動は鐵道の代用線として或ひはその培養線としての自動車線の加速度的增大を見つゝある、文化政治、治安、產業、所謂人類發展の先行者であり促進者であるともいひ得る交通の大部分を司る鐵路總局の短時日におけるこの發展は同局の將來性延いては滿洲の將來に對してよき約束の根源となるものであらう

こうした總局の機能發揮のための內部的改善は創業後に於ける路警學校の開設、近くは鐵路學院の開設「自動車係」の「科」へ獨立、警務處の擴大充實、その他救護規程表彰規程の制定によつて從事員の保護激勵につとめる外貨物關係の諸規程の制定近くは滿鐵及日本鐵道省よりの指導員の多數の採用、建設途上に在る總局の如何なる一舉手一投足も建設の一石たらざるものはない

斯くて一の有機體としての將來の効果的な活動の最大必須事たる機構の統一確立をはかるため重大懸案として總局と各局の配合按配は尚殘されたもの丶一つである

松岡洋右氏の朗かなお正月　タッタ二分で代議士を解消した松岡洋右氏、お正月には自宅に引籠つてお子さん達と朗かな歌留多取り【寫眞は閑居の圖、向つて左から震三君、松岡氏、志郎君】

國都建設の回顧と展望（上）

國都建設局總務處長　結城清太郎

先づ國都建設の根本問題であるが、將來の人口增加問題について一言したい。凡そ都市の建設は將來人口が何ほどになるかを想定して計畫せねばならぬと思ふ、私共は計畫の責任上國都大新京の人口增加を極めて控目に見て計畫を樹てたつまりこれ迄の舊長春の人口增加率である五％を基準にして、五年にして十萬位の增加二十數年にして三十五萬位の增加と見たのである。然し交通、經濟及び政治のダブツタ要素から見て五十萬以上になる可能性ありと認め、人口百萬になつても困らぬ樣にその收容區域を保留することにしたのである。計畫は控目に見て居るが、事業は人口の增加に相應して執行することになつて居るから豫想計畫よりも人口が殖えた所で別に困ることは起らぬ。

世界各國の首都は人口五十萬以上であり、ワシントンの樣に單純な政治都市でさへ人口五十萬であるワシントンは十數軒の農村を首都とし首都とはいひ各州聯邦政府があるに過ぎぬのである。然るにこの新京は江戶が東京となつた樣に長春が新京になつた東洋人の町である。私は大體小東京を豫想して然るべしと思うて居る。ワシントンはニユーヨークには及びもせぬが、東京には大商業都市の大阪も較べにならない。新京は東京の樣に大きくはならなくとも東京の樣な傾向を多分に持つて居る。卽ち中央集權的政府の所在地であり日本全權府があり、何れ各國大公使館も駐在することゝなるが、この關係からしてもこれからといふこの滿洲國においては新京は當然一國經濟の策源地、支配都市である。殊に統制經濟の滿洲國としては主なる日滿兩國の諸會社、銀行等の本社、支店、出張所等悉く新京に集まるとは明瞭である。恰度大連における滿鐵本社といふやうなものがこの新京に夥々と出來ることになる。

それから日滿兩國の軍隊が駐屯する、各宗教の本山が集まる、滿洲國各中央學校が建設される、更に十五萬の旣設都市として持つてゐた交通經濟の中心都市たるの性質を更に增されることを注意すべきである。京圖線は旣に完成したが、大賚洮南方面にも鐵道施設の可能性はある。國道は新京を大中心として各方面に建設され、その商業範圍は廣まるだけである、現に公主嶺、四平街等の住民は新京迄買物に出る狀態であるから、今後は新設國道とバスの便によつて周圍各都城の住民も新京の小賣商業の顧客となることは明かと思ふその他一國地理上及び交通上の中心關係からの夥しき旅客の乘降客滿人大人の安住地、國際都市として理想的且つ平和安全な都市としての享樂施設等悉く人口增加の理由あるのみである。そして相當人口が增加するときは重工業等は別とするも自然色々な工業まで考へ起されることゝなるのである。

要するに滿洲國の政治的、經濟的、社會的事情と、新京の地位から推察してこの新京は五箇年計畫を終れば人口合計は三十萬以上にはなるものと信じて居る。さて斯の樣な人口增加の要素を具備して居る國都大新京建設の大同二年、卽ち昭和八年における狀況はどうであつたかを回顧するにそれは實に慌たゞしき創忙そのものであつた。何れにしても計畫準備期間が極めて短く昨春四月の解氷期に直面して土地買收、道路、上下水道その他の公共施設を一齊に開始した樣な次第であるので恰も戰場の樣な錯綜狀態を呈した而して此等の公共施設諸工事は爆發的人口增加の要求の現はれてある、官民諸建築の殷盛に常におされ氣味で色々に文句も頂戴し遺憾の點もあつたが、兎に角豫想以上の廣範圍に亘つて公共施設の大半を了し、どうやら官民一般の需めに應じ得たことは大方の御援助に據るものと深く感謝して居る所である。

之を具體的にいへば大同大街と滿鐵線に挾まれた興仁大路以北の約二百萬坪に亘る地域には道形工事を施し更に大體その半を占むる興安大路附近以北の地域に對しては道路鋪裝及上下水道その他の公共施設を終了して附近一帶の進出新居住者に不便なからしめたのである。大同大街と興安大路にはケーブル線に依り一基二燈の街路證明設備も出來て明るさを增し更に興安大路が滿鐵線を西方に橫斷する興安橋も完成した爲に、來春からは鐵道西側の病院やゴルフ場や競馬場に往來するには極めて便宜になつたわけである。その他大同公園は五割方完成し、白山公園は三割方、南嶺綜合運動場の野球場は八割方完成して居る。

◇

次に二年度中に新京に建築された家屋數は伊通河の東に新築された滿人住宅約五百戶を除き一千五百戶と概算せられて居り、本年の新京に於ける土木建築總工費は約一千四百萬圓に達したと稱せられて居る。然しおすなおすなの勢ひで家賃疊一枚五圓といふ世界一の相場は依然としてその儘繼續されて居る狀態である。

諸建設中主なるものは國都建設局及び文教部廳舍、司法部廳舍、財政部廳舍、國道局假廳舍、大同自治會館、新發屯滿洲國有料官舍、新京特別市々營住宅、滿洲國協和會住宅、滿洲中央銀行々舍等で、更に日本側には軍司令部廳舍司令官及び參謀長官舍、將來の中央驛である南新京假驛、滿鐵社宅、東拓アパート等である。

土地の賣却開放は前後三回の公開賣却と、定價指名契約とに依つて興仁大路以北の地域一帶中、官公用地を除き殆ど全部賣約すみの盛況で[illegible]不足を告げ更に興仁大路以南順天公園迄の地域と滿鐵線以西の一部土地迄も契約すみの狀勢にある

滿鐵用度事務所　關係人事異動發表

滿鐵商事部用度課を用度事務所に昇格することに決したことは旣報のごとくであるがこれに伴ふ人事異動は四日左のごとく發表された

- 元用度課長　參事　鹿野千代槌　用度事務所長兼庶務課長事務取扱を命ず
- 元第二購買係主任　參事　細海榮治郎　購買課長兼調查係主任を命ず
- 元大連倉庫長　參事　伊藤吾一　倉庫課長を命ず
- 元調查係主任　事務員　青柳龍一　庶務課庶務係主任を命ず
- 元計畫係主任　事務員　早川與之吉　庶務課計畫係主任を命ず
- 元計算係主任　事務員　香西角三郎　庶務課計算係主任を命ず
- 元第一購買係主任　事務員　小佐厚　購買課第一購買係主任を命ず
- 元庶務係主任　事務員　齋藤忠雄　購買課第二購買係主任を命ず
- 元契約係主任　事務員　關清介　購買課契約係主任を命ず
- 元大連倉庫第一現品係主任　事務員　島村宗雄　倉庫課第一現品係主任を命ず
- 元大連倉庫第二現品係主任　事務員　倉智圓寬　倉庫課第二現品係主任を命ず
- 元大連倉庫整理品係主任　事務員　佐藤良太郎　倉庫課第三現品係主任を命ず
- 元大連倉庫發著係主任　事務員　石原清泉　發著係主任を命ず
- 元用度課事務員　吉岡茂雄　奉天倉庫事務係主任を命ず
- 元用度課八幡在勤員　事務員　大保時男　新京倉庫現品主任を命ず

日下內務局長　七日發上京

關東廳の日下內務局長は久しく上京を見合せてゐたが七日大連出帆のはるびん丸にて上京することになつた、旅行日程は約一ヶ月の豫定で用件は大した事でないといつて居るが、仄聞する處によれば過般問題となつた滿鐵改組に伴ふ關東廳の機構問題に關し關係各省に說明諒解を求むるものと見られてゐる

土肥原少將

奉天特務機關長土肥原少將は三日午後七時三十分着はとにて來連したが車中語る

正月の休みに三日ばかり保養に來た、奉天省內の匪賊は最近全く潰滅したと云つてよく、あつても精々五十人足らずの職業的鼠賊に過ぎない、匪賊工作も大體成功と云つてよく今は奉天省內は滿洲國の警察隊の力を以て完全に治安維持出來ることになつて居り匪害も事變前の東北軍閥時代より遙かに少くなつて居り王道樂土の實を擧げてゐる

近藤經理課長

遞信局本年度豫算につき中央當局と折衝中だつた近藤遞信局經理課長は一日歸任、その善處により項目中削られたものは一つもなく、事業增進經費中一部を削除されたに過ぎず大成功を收めたので小包郵關事務に關する設備費、人件費などを容認されたのを初め新京、奉天、大連（多分春日町）における各一ヶ所の郵便局舍建設も愈々實現を見るわけである、近藤課長は語る

幸ひ項目中削られたものは一つもない、事業增進に關する經費も一切認めぬ方針を採つて居り手嚴しかつたが、これまた一部削減を見ただけで大體認めて貰つた

八相

井頭公園の制札

於東京　有馬藤太

◇十二月二十五日用たしの爲め吉祥寺に赴ける序に、井ノ頭公園を一見しましたが、其入口に橫書假名文の制札や指南圖が立てられて有ります。見物人は之を讀む爲め大抵二三分間佇んで惱んで居ます、私も其一人です。

◇漢字ならば一目見た丈で分明すべき事柄が、長たらしく、讀みづらき非能率的カナ文字、シカも常體に非ざる書體で書かれ有る爲め、何人も惱まざるを得ぬらしく、園內大盛寺の小僧さん？曰く「カナ文にしてから園規の反則者が多くなつたと聞きました、よむのが面倒なので殆ど顧みられないからでせう」と。

◇阿佐ケ谷の自宅に歸ると、十二月二十日發行の貴紙が配達されて居て、其八相欄に今しがた見て來た井ノ頭の立札の事が出て居るので獨り苦笑を禁じ得ませんでした。

◇東京でさへコンな有樣です、況して滿洲と支那とを友邦隣國に持ち且つその滿洲に居る吾人同胞が、漢文に背くことが善い事で有らうか。假名が有るから漢字と呼び、それを支那の文字と思うて居るのであるが、我國に採用して一千數百年、旣に十二分に消化し盡くされ全然國字に成り切つて居る文字を邪魔視してよいものかどうか。

◇而も我が漢字は之を讀む迄もなく一目見た丈で意味が分る「コンナ重寶な文字は世界無比で有る」と思ひ乍ら、今しがた井ノ頭立札を見て來た私が、二十日の八相欄を見て微苦笑したは無理ではないでせう。

大連初市會

大連市會では六日午後一時から市參事會、同二時から第七十八回市會を招集するが、議案は左の如くである

一、元市長石本鏆太郎氏死去に付弔詞贈呈の件
一、元市長石本鏆太郎氏死去に付弔慰金贈呈の件

滿洲銀行異動

滿洲銀行にては四日左の如く異動が行はれた

- 奉天支店支配人代理　矢野次郎　撫順支店支配人を命ず
- 安東支店支配人代理　吉村善吉　奉天支店支配人代理を命ず
- 本店營業課行員　平田熊夫　安東支店支配人代理を命ず
- 撫順支店支配人　梶浦滋　撫順支店支配人を解きハルビン出張を命ず

中村財務局長

關東廳豫算說明のため昨年十一月以來上京中であつた關東廳の中村財務局長は五日大連入港アメリカ丸で歸任すると

文部辭令

【東京四日發國通】

任旅順工大豫科教授（七等）　德永珂月
任旅順工大豫科教授（六等）　六高教授　奧村日出男

隨筆　新春隨感（上）

武者小路實篤

新年に別に變りはないと思ふが、しかし年が改まるのは何となく嬉しいものであり、あかるいものだ。今年こそはといふ氣になる。今年こそよき年であれ、さう云ふ氣になる。そして今年こそよき仕事をして見せるといふ氣になる。決心が改まり、心が何となく新鮮になる。齡をとるといふことがもう嬉しい齡でもないが、しかし新年を迎へるのは嬉しくないことはない。

殊に子供が大きくなることはうれしい。僕の處には十一、九つ、六つの女の子がゐるがそれが新年と共に十二になり、十になり、七つになる。一日で不意に大きくなるわけでもないが、何となく愉快である。子供達は大きくなつたやうに喜ぶ。

しかし僕も子供にまけずに新年が來たことを喜びたいと思ふ。そして新しい年を無事に迎へたことを祝したい。

そして希望する白紙の年が來たことを喜ぶ。道ゆく人も嬉しさうだ。一休は新年を迎へることを冥途の旅にたとへたが、それは事實だが、我等はさう云ふことは忘れて、今年こそよき年にしたいと思ふ。自分の家業のよくゆくことを切に望む。新しい計畫をする。今までの力の足りない處を補はうとする。今迄出來なかつたことを今年こそやつて見やうと思ふ。一步進んで見せる氣になる。

新年と云ふものがなかつたら、我等はぼんやりするであらう。しめくくりがなくなるであらう。

シンガポールに二十年程住んでゐた友達の話だが、熱帶では四季の變化がないので、人が訪れて來てくれても、春だか秋だか、冬だか夏だか忘れ、何年前に來たか忘れがちになると云つてゐた。

冬はいいものでないかも知れないが、冬があるから春がある。秋がある。四季の變化のあることは我等には喜びなのである。浦島が何處へ行つたのか知れないが、常夏の國は夢の國ではなかつた。しかし我等は常夏の國で春を迎へるよりは、春夏秋冬のある處で春を迎へる方が喜びだと思ふ。

國々にちがう特色はあり、喜びはあるものだ。だから常夏の國には又常夏の國のよさがあるかと思ふが、我等は冬もある國に生れたことを喜んでいいやうに思ふ。

殊に冬の最中に正月がくるのは面白いと思ふ。之も習慣とは思ふが、正月は矢張り冬がいゝ、それも習慣として今のまゝがいゝ。昔の人は昔の方がよかつたかも知れない。ともかく正月は冬の最中、雪を連想する時、炬燵や蜜柑を連想する時である。寒さを連想する凧をあげたり、羽根をついたり、百人一首をしたりすることを連想する。それ等は正月と結びついて子供の時の思ひ出と結びついて正月をなほ樂しいものにする。

いくつになつても樂しいのは子供の時の樂しかつた記憶である。

正月のたのしみを、子供の時の記憶が腦にこびりついてゐるからと思ふ。子供時代をすごした故鄕の思ひ出こそ樂しいものであらう。正月は都であらうと、田舍であらうと、ひさしくたづれて、我等の心を新しくし、うきたたせるものと思ふ。

ネルソン炭坑崩壞

【プラーグ四日發國通】オセツクに於けるネルソン第三世炭坑の坑口崩壞し百四十名の坑夫生埋めとなり午前一時半迄に十六名の死體が發掘されたが崩壞に伴ふ坑內出火のため救援作業は全く放棄の狀態である

大觀小觀

三日元始祭例年の通り、但し今年は宮中喪の爲め御親祭遊ばされず四日には御政治始めの御儀滯ほりなく終了▲愈々本年の政機が動き始めたわけだが、動き方はまだ頗る緩漫▲一國一黨論など、實際問題になるのは程遠しと見られ、政民合同說が聊か動かんとしつゝある▲貴衆兩院でも、諸問題はせいろうに入れてあるやうだが、まだ蒸しがあがらず、臼に入れて搗くまでには時間がある▲但し去年から持越しの日印會商は漸く蒸しがあがつて、愈々今明日搗かれさうだ、さてこの餠の出來ばえ如何、その又形は丸か四角か▲英國新國聯尙書が出掛けて、日本に聯盟復歸を勸めるだらうと、英國一部での取沙汰▲英政府は一笑に附してゐるが、こちらにても一顧に値せず、今更國際聯盟など問題であるまい▲黑龍江省に、中小學教員卅九名の不良淘汰斷行があつた、中には日人職員二名もある▲優良の拔擢不良の貶黜に、日滿人の區別なく公平なるはよい▲十一月の外蒙反赤暴動、首謀以下數千は斬殺されたさうだ▲一時鎭壓されたとしても雷同の蒙人は[illegible]空氣は抑壓しきれるものでもあるまい。

＊＊ラヂオ＊＊　大連　JQAK

一月五日（金曜日新年宴會）

▲午前六時三十分ラヂオ體操第二
▲午前七時ラヂオ體操第一
▲午前十時レコード
▲正午時報
▲午後〇時五分ニユースレコード
▲午後三時三十分ニユース
▲午後六時ニユース
▲午後六時三十分（東京より）太神樂「神樂調」丸一鏡味小仙、同小松同龜造、同愛之助、同仙壽郞、はやし連中
▲午後七時（大阪より）詩の朗讀（西條八十詩集より）（イ）おひばれ（ロ）冬の朝唄（ハ）ひつじ（ニ）雪の夜がたり作曲朗讀岡田嘉子伴奏大阪ラヂオオーケストラ、作曲並指揮橋本國彥
▲午後七時三十分（東京より）浪花節木村友忠
▲午後八時（東京より）歌謠曲（一）壽小唄西條八十作詞中山晉平作曲（二）滝の灯長田幹彥作詞松平信博作曲（三）和洋合奏「奉祝曲」村越國保編曲（四）勝太郎おけさ入（五）佐伯孝夫作詞（五）鴨綠江（詩吟入）佐伯孝夫作詞（六）萬歲音頭佐伯孝夫作詞中山晉平作曲、小唄勝太郎、指揮村越國保、伴奏日本ビクター管絃樂團、
▲午後八時三十分時報、ニユース氣象通報

賀正　2594
東京
大倉土木株式會社（專務取締役）
林田清一
林正春
河田烈
竹田儀一
角田不二男
永井柳太郎
中田金司
丁士源
趙欣伯
一、資本金　壹千貳百參拾萬圓
一、拂込金　壹千拾參萬四千圓
一、積立金　六百萬圓
一、製造能力　貳萬貳千貳百バーレル
日清製粉株式會社
東京市日本橋區小網町一丁目二ノ四
支店　名古屋、神戸
出張所　門司、小樽、大連、横濱
工場　館林、宇都宮、水戸、高崎、佐野、鶴見、名古屋、神戸、岡山、坂出、鳥栖
陽畫感光紙　ダイアド
製圖用紙
方眼紙
透寫紙
感光紙
星名刺本舖
櫻井大二郎商店
東京・日本橋・馬喰町
電話浪花五〇〇〇番（代表）
振替東京四一〇番
諸星油墨公司
上海蓬路十五號
奉天分行
奉天城内大北門裡
電話四〇一五番
孔雀印・印刷インキ製造販賣
株式會社 諸星千代吉商店
横濱市中區久保町一一一七番地
設備完成
優良精良
東京支店　東京市京橋區實町二丁目九番地
大阪支店　大阪市南區鍛冶屋町二十七番地
名古屋支店　名古屋市東區大津町五丁目七番地
横濱工場　横濱市中區久保町千百十七八番地
程土ケ谷工場　横濱市保土ケ谷區保土ケ谷町
撫順炭
一手販賣
撫順炭販賣株式會社
本店　東京市麴町區丸ビル内
若松出張員　福岡縣若松市宮下町一ノ三〇七
名古屋支店　名古屋市中區新柳町住友ビル内
大阪支店　大阪市東區安土町二ノ五六
大連支店　大連市山縣通大倉ビル内
伏木出張所　富山縣伏木町古國府九四
鞍山銑鐵
特約販賣
大連汽船株式會社
東京出張事務所　東京丸ノ内丸ビル
電話丸ノ内三六二三
王子製紙株式會社
龍印並双獅子牌　印刷用インキ
製造元　川村喜十郎商店
本店及工場　東京市本所區石原町三丁目
大阪支店　大阪市南區鹽町通二丁目
滿洲國販賣所
福盛號紙莊　大連市監部通四二
同支店　營口永世街（德記洋紙店）
同支店　哈爾濱道外南五道街
紙業公司　奉天城内鼓樓北路東
營業科目
製版用銅版亞鉛地金商
臼井半太郎商店
東京市神田區豐島町六番地
電話浪花（67）三二八二番
取扱品目
絹及人絹織物、綿布、卓子掛、絹寝卷、蒲團、ワイシャツ、ネクタイ、洋服、各種織物加工物、メリヤス類、陶磁器、漆器、帽子、印刷インク、化粧品、電球、金銀モール、コルク製品、百合根、菓子、醬油、肉製品、漬物、箱根物産、貝細工、寒天、農具、毛糸、雜貨
神奈川縣東亞輸出組合
横濱市中區日本大通
駐在員　奉天商工會議所内
加藤孝

犬の話

關東軍獸醫部長 獸醫監 渡邊中

戌 の歳といふので急に明るみに犬が役を貰ひ出たやうであるが、大體日本では犬は損をしてゐる「犬なんか」と云ふ氣分が世間を支配してゐるので、輕蔑の場合に引合せらるゝ事多く憂目を見てゐる譯だ。スパイの事を犬といふ「夫婦喧嘩は犬でも喰はない」、犬の樣な奴、犬のやうにお尻が輕い、犬のやうに嗅ぎ廻る、等々隨分迷惑千萬と犬は考へてゐるだらう。それが急に犬の流行といふ譯合でもあるまいが、當今のシエパード種牡の如き交尾料が一回で百圓位のものはザラにある。孕むとなると産れぬ内に名犬の種とあつて隨分危險ではあるが百圓の相場さへつくので、仔犬に一升つけて貰うてくれてといふた時代とは全然夢のやうに違うてゐる。雜種でもこの頃は馬鹿に出來ない、東京ではシヨウウインドウの内に怪しげな血統づきで賣品となり遊んでゐるのを見受ける。

元 來犬は牛馬羊豚のやうに産業上の家畜では無いから之れを飼養する目的も自ら違うてゐる。つまり家畜の生産物を利用するためで無くて寧ろ其の性能を利用し若くは愛翫するために飼養せらるゝのだ。勿論犬の皮革が特に滿洲にては相當必要なもの、又其肉が朝鮮にて食用に供せらるゝにせよ云はゞ一部の用途であつて、本來の目的は狩獵とか軍事とか警戒とかに利用しまた其性能を愛翫するのである。元々動物の中でも性能の最も發達せるは犬と猿であるが犬は往古から人に愛撫せられ家族の一員として飼はれた特別待遇のものであるが、猿は犬の樣に家族の好伴侶者と云ふ譯にゆかない。

現 今犬の種類は大約百四十八種あるといはれて居る、その分類も用途によりて色々に分けられるが、今一番有能な、例へば滿洲軍用犬協會の軍用適種犬に就いて見ると

一、牧羊の管理又は其保護(野獸や盜賊に對して)に使用せらる

二、警察用としては古くから獨逸白耳義で使役して居たが歐洲大戰に際會し直ちに軍用犬として偉功を樹てた事は餘りにも有名である、平素は刑事犯罪者の搜索及追跡、囚人の護送、警邏用及監視等が主な任務である

三、軍用としては傳令、步哨、警戒、彈藥及糧食の運搬、死傷者の搜索等が主なもので、これ亦滿洲事變以來の業績は說明の程もない

四、番犬としては一般に家庭に、邸宅、倉庫、庭園、屋內、果樹等の番犬である、特に監守を命じた場合、例へば乘捨てた自動車、荷馬車或は物品等は決して他人には渡さんのである、近頃では百貨店の閉店後の見廻り、倉庫の夜廻りには實際有效に利用せられて居る

五、盲人の手引するもの、之れは繁劇な市街の交通路などを無難に通過さして目的地に誘導するのでベルリンなどには失明軍人がよく助けられて居るのにぶつかる、獨逸、瑞西及米國には特に此の訓練所がある

六、護身用としては主人に向うて危害を加へるものあれば敢然と身を挺し外敵を防禦し自身の傷害をも顧みない、滿洲では鐵道守備隊の軍用犬が如何に忠勇なる兵隊の伴侶であるか今更に說明するまでもない

七、家庭の伴侶として隨分廣場でキヤッチボールだのスポーティングの相手に成つて子供たちを欣ばして居るが、此頃大阪で幼稚園通ひの車を輓かして居る人がある、乳母車にはかなり從前から利用して居る

八、映畫にリンチンチンの樣に、其他シルバー・ストリックだのピーター・ゼ・グレートなどの名犬はキネマファンに熟知の事である

九、赤十字犬としては遼陽衛戍病院で訓練して居る、其外水難を救助したとか、拾物を啣へて來たとか色々訓練次第で隨分利用せられて居る

叙 上は主として軍用適種犬たるシエパード、エーアデール及びドーベルマン、ピンシエル種に見る事であるがコリー種も之れに劣らないものがある。其他訓練により程度こそ低けれ作業をする種類がかなりある。たゞ犬の腦力つまり識別力が劣ると、例へば或る蒙古犬種の樣に無闇に勇猛性を發揮し吠えつく、イザと云ふ場合に勢力が盡きて終う樣なのは實用犬に成り難いのである、何種に限らず臆病な猜疑心の強い判斷力が足らぬ犬は、風で扉が動くを見ても鼠が踊れる音を聞いても直ぐに吠え立てるのである。「宅の犬はよく吠えるので番犬としては持つて來いですよ」など云ふ初心な飼主も漸次輕はずみに攻擊姿勢を取らない樣な悧巧な高級番犬が欲しくなるものである。屋內に愛翫犬テリア種の小犬を、屋外にシエパードでも飼うたとすれば如何なる惡漢も闖入は先づ出來ないだらう彼等は電話や目覺や呼鈴等のベルは完全に聞き分け闖入者を嗅ぎ出すから、家人をして直に警戒の態度なり處置を執らしむるからである。

此 の如く家庭で犬を飼ふ目的は大きく謂へば番犬、愛翫犬の外に狩獵犬がある。此等は專門の書に讓る事にして犬を飼ふ心境とこれから犬を飼ふと云ふ人の爲めに一寸つけ加へて置く。泥棒の用心に飼ふとしても、又特に家庭になじます爲には仔犬から飼はなくてはならない、夫れが却々容易の事でない、人の赤兒を育てる以上であるといふ事を豫め承知して貰ひたいのである。犬の仔が十四産れても滿足に育つのは其の半分以下である、經驗家でも産れてから一ケ月たゝぬに全部亡くした樣な事が尠くない、殊に良い種類程困難が伴ふ。だが各家畜の內で犬程に人間との間に親密なものはない、猫の仔ですら人の聲を聞くと警戒姿勢をとる、犬の仔は人間に絕對に危惧の念が無い、産れ落ちて二週間前後に眼が開くが、閉ちてる間でも人の足音に人の方ににじり寄るのである。可愛い事は可愛い仔犬であるが、其の仔犬程惡戲好きのものはない。生後三四月と來ては下駄を咬へ出し鼻緖を嚙みきる、靴を片方何處へか咬へ出し散々孔を開ける、植木鉢は引つくりかへす、泥の脚で家人に跳つく、盛裝の婦人などツクヾヽ仔犬が憎くなる。

一 番困るのは排泄物である座敷犬は蒲團でも何んでも一切おかまひなしである。番犬として又矢鱈に吠えるのも近所に對して相應に氣が引ける、狂犬病の豫防注射でもして置かなかつたら御用聞きでもウッカリパク付いたら最後全く低頭平身でモウ之れきり犬なぞ決して飼ふまいと考へらるゝだらう。處が此の不愉快な事柄も一家團欒で油然飼犬に對する愛情が湧いて來る心境は犬を飼うて見て初めて知る會心である。一向に苦

用途に依り報いらるゝのである。

本 年は戌年であるから氣紛れに犬でも飼うて見んなぞ考へる人たちの爲に決して樂のものでないと云ふ事を勸告し、同時にこの困難に打克ちたる際の愉快を分けたいものである。

滿洲の劍道界

高野慶壽

劍聖武藏は「劍法の理にまかせて諸藝諸能の道をなせば萬事我に師匠なし」と言つた。又江戸を兵火より救ひ無事大政奉還の大業を仕終うせた山岡鐵舟の如きを見る時、劍道の修行が何處まで歩まればならぬかを指示するものである。武藏は最後は劍法を萬事に應用し鐵舟の單身敵地に乘り込み生死を解脫し無我の境地に入つた如き、劍道の眞の姿は總て無我の境に入り、なす事が自然に天地の理法に適合し少しも誤りがなくなるところにある。時代はうつり、劍は一人の敵たり學ぶに足らずとか支那一流の個人主義的解釋をなし或は刀に比するに銃、大砲、毒瓦斯等の文明の利器を以つてする如きあるも、益々劍道の發達獎勵あるは強ち非常時日本の生んだ副産物でもなからう、滿洲國建國以來內地より個人に團體に劍の道の修業と共に滿洲國の姿認識のため來征の多くなつた事は誠に喜ばしきことで、日本と滿洲とを益々近づける基となり水杯までして出て來ると云ふ樣な騒ぎはなくなる事と思ふ ——

×

先年は先づ埼玉が遠征して來たこれに當るに全滿の精鋭を選んでの戰である。古來埼玉は全縣下よく武を獎勵し劍の姿も俊敏を以つて聞えて居るのである。祖父佐三郎が全埼玉を統率しての戰ひである。警戒した如く前半戰に於いては完全に埼玉のためたゝきのめされた。攻勢に移るや息をもつかせず先をとるところ堂に入つたものである。學ばされる處實に大きかつた

×

それにしても滿洲方が頽勢にあつて今少しく不動心が肝要では無かつたか、何しろ良き試練であつた、幸ひ奧川五段名劍の冴えにより挽回し得た功績に感謝するものである。埼玉勢の後陣を承まはる選士の案外手ごたへ無きには聊か物足りぬ思ひがする。それにも原因がある、現在埼玉には四五段を鍛へるべき上級者の少く、從つて後陣の連中が案外樂な練習をして居つたのでは無いかと推量される

×

次に學生軍として明治、京城大學並びに京都武道專門學校の來征に接した。明治、京城共整つたチームであつた、然し現今學生界劍道の流であらうが腰の劍道といふより頭の劍道といふ樣に評し度いのである。然し中にも明治、京城の主將の如き堂々たる鍊磨の跡明な選士もあつた事を喜ぶ。それにしても流石に武專は專門家の卵だけあつて實に堂々たるものがあつた、幸ひ將來子弟のため正しき劍道に邁進する樣切に自重を望む

×

試合は先鋒滿口初段に三段七人も枕を並べ同年輩の菅原四段のため大將以下四人まで手も足も出ず氣で押され薙ぎ倒れた事は餘りにも慘めなものであつた。本年卒業される武專選士に對しては良き淸涼劑であり、滿洲まで遠征された甲斐あり、此の上もなき土産であつたらう

斯くして今年度は來征選士に對し土つかずの記錄を印したのである。修業の目的の一端のあらはれである勝利について考へれば確に誇りの一である。幸ひ本年は內地遠征の企てであり、この遠征に優秀なて誇り得るものである。遠征軍の組織準備の任に當る方々には時期と人と鍛錬の方法等に充分力をそゝがれ萬遺漏なきを期する事を願ふ者である

ア式蹴球界を語る(下)

滿鐵蹴球部 光田孝

◇…わが大連蹴球聯盟は昨春の誕生以來目覺ましい活躍をなし、今や滿鐵蹴球部チーム、隆華チーム大青チーム、工華チーム、師同チームをそのメンバーとして力強き歩みを滿洲蹴球界に印して居るものである

◇…アカシヤの花薫る五月からプールに水しぶき立つ七月迄大連運動場で展開された春のリーグ戰では、帝都で鳴らした本田、內藤、曾我選手新京より歸連の三吉選手を加へ意氣のあがつた滿鐵軍が覇權を握つた。炎熱燒くが如き盛夏も過ぎ

◇…青空高く上るボールに初秋を感ずる九月から落葉散る晩秋の十一月迄に行はれた秋のリーグ戰に於ては、前シーズンの覇者滿鐵チーム內藤、曾我選手の病氣、名軌選手の轉勤等の差支を生じたが古垣選手の歸連武安山口選手等の新顔を加へて戰つたが利あらず、隆華チームの優勝する處となつた

◇…このリーグ戰の他に四月には內地においてその強豪を誇る湯淺チームを迎へ、七月にはドイツ艦隊チームと歡迎試合をなし八月には拓殖大學チームを迎へ、九月にはイタリーの軍艦チームと對戰する等、滿洲の玄關を承る大連に適はしい幾多の國際仕合が展開されたのは異彩を放つものであつた

◇…十一月上旬の中等學校蹴球大會は大連一中、大連二中のA・Bチーム大連商業及び旅順中學チームの參加によつて華々しい若人の血戰がファンの血をわきたゝせた最後に大連一中Aと大連二中Aとの間に雌雄が決せられたが遂に前年の覇者大連二中の連勝するところとなつた。二日間に亘る仕合を通じ學生らしい元氣一杯のプレーに終始したことは嬉しかつた。あの元氣に練習と研究から獲得せる技術を加へて、もつと強くなつて欲しい。——關東州のみならず沿線の學校においても

◇…幾多の仕合中最も意義深く且つ思ひ出新なるは全新京チームとの對戰であつた。十月中旬新京に遠征した滿鐵軍は三對一のスコアを以て見事凱歌をあげたその後滿洲國體育協議會が各部統制を斷行したのを契機として其の一部門となるべき滿洲國足球協會が設立され、足球普及の爲全面的且組織的活動を開始した。その協會紹介を兼ね大連足球聯盟との連絡の爲に來連した全新京軍を迎へたわが滿鐵軍は十一月二十六日日滿交歡蹴球仕合を催した

◇…「日滿親善」なる言葉は各方面において叫ばれて居るが、我々はスポーツ人として「フットボールによる日滿親善」を絶叫するものである日滿人のプレーヤー及び觀衆が夫々一緒になつて仕合に陶醉してゐる光景は理窟無しになごやかな光景である。グラウンドを縱橫に轉々するボールは鮮かに日滿人の心を一所にキャッチしてゐる。フットボールを通じての日滿人間の握手は堅い。我々は滿洲國技として適はしい蹴球の發達のためには如何なる努力をも惜まないものである

◇…滿洲のア式蹴球が永き傳統の歷史と言ふ豐なる土地に根を擴げ滿洲國政府を始め各方面の援助と言ふ榮養を充分に吸收して、健かに成長する姿を見るのは愉快なことではないか

賀正 2594

羅津

滿鐵羅津建設事務所
桑原利英
野本謙治
福島三七治
沼崎寧
萩野朝陽
杉野謙三
成瀬武

滿洲土木建築協會羅津支部
西松組 田本辰次郎
大林組 櫻井謙二郎
大倉組 松田一人
同 橋本義則
長門組 吉田小大馬
松本組 數田薫三
鐵道工業 中島彦作
阿川組 梶原喜代治

羅津警察官駐在所
所長 前田美惠
濱野幸之助

羅津面長
齋藤長治

新安公立普通學校
佐藤秀雄
金錫昌
藤澤顯女
田寅

羅津郵便局
坂本兼勝
平松恒三郎
西村四郎

在鄕軍人羅津分會長
秋篠義一

咸鏡北道會議員
金琪宅

羅津商工會長
岩石憲人

木村清

滿鐵指定人夫供給
共影平篤介
進林七藏
組中西良作

滿鐵指名製煉石炭
中島洋行

滿鐵指名
大阪電氣商會

滿鐵指名
久住商會
代表者 長井信治

滿鐵指名食堂部
宮下松次郎
藤野廣美

共和工業所羅津出張所

滿鐵指名親和モルタル工業
河手仲藏

三大組
(滿鐵御用) 海陸運輸 內外貿易
富士商行
佐藤兵逸
森田馨介

學務委員
金京俊
申敬天

大林組配下
上村重行

鐵道工業配下
近藤多朔
樋口文藏
安龍康

西松組配下
上野仁右衛門
德川事務所

松本組配下
山本事務所

合資會社
大阪號
百貨部
橘醫院
保險部
土地建物部
貿易部
食堂部

羅津土地合資會社

和洋酒 食糧品 米穀類
三昌洋行
三笠町

羅津製材所
古村米次郎

羅津魚菜株式會社
社長 梅田嘉十郎

羅津製藥貿易合資會社
代表社員 北村久七郎

豊住醫院

原地病院

宮本醫院

稻垣日本堂支店

アサヒ地下足袋代理店
川浪藥房羅津支店

羅津協會代表
中野榮吉

雄電羅津營業所
野村泰作

羅津土產
雲丹製造卸販賣所
竹下京美堂

若林鐵工所

司法代書人
菅繁雄

建築材料
堀江金物店

板硝子商
澤田商會

須藤洋服店

和洋雜貨商
迫喜之一

東洋生命保險代理店 旭金庫代理店 和洋百貨
坂田洋行

宮本金五郎

羅津市場
金淵學
金聖鉉

洋品雜貨
カガシヤ支店

和洋雜貨
岡崎支店

撞球キング倶樂部

海陸運送
三光商會

喫茶ヒトミ

滿鐵指名
原田義一商店

羅津料理屋組合

御料理 三穀
喜代香　信子　ぽんた　静香　君子

御料理 秀の家
秀吉　秀美　秀香　秀次　秀勇　秀葉　秀代　マサ丸　ミツヨ　ノブ

御料理 朝日
ミスジ　助六　若龍　戀路　静枝　春代　小太郎

割烹 時壽
時壽　時次郎　時丸　時彌　時馬　時榮　時若　時香　時美

御料理 梅の家
梅千代　光勇　君女　京子　玲子　玉榮　福豆　奴

御料理 八千代
小太郎　〆治　秀松　歌治　五郎

レストラン・サロン・ミツワ
榮町

レストラン・サロン・ヤマト
本町

羅津飲食店組合

御料理 日の丸
二○加　日の丸　駒菊　八重子　京子　まり　春千代

御料理 春帆樓
入帆　清龍　力彌　秀勇　時勇　イサ　シメ

御料理 丸葉
桃香　一丸　春駒　若福　牡丹

御料理 八八亭

御料理 羅興館
雲仙　桃花　春桃　明花　明月

御料理 明月

御料理 勝福

羅津ホテル
高砂旅館
鶴屋旅館
草島旅館
やまと旅館
信濃屋旅館

賀正

錦州・開原・洮南

錦州

平田重三

副領事 後藤綠郎

錦縣公署 縣長 馮廣民 參事官 上杉益喜 外一同

滿鐵錦州鐵道事務所 古閑正雄

市來清逸

錦縣 作野秀一

錦縣 電氣股份有限公司

木村土地企業株式會社出張所 天津泰信洋行出張所 清水孝祐 營業所 錦州驛前新市街地 本店 天津法界五號路四〇 出張所 奉天、北票、朝陽、西海口

錦州旅館業組合

錦州料理店組合

錦縣電報電話局

錦州新報社長 井下萬次郎

國際運輸株式會社 錦縣出張所

錦州大馬路 西海汽船公司

廣藤德松

錦州居留民會議員 八田健太郎 道脇毅 中川平治 竹内藤平 森川末吉

錦州居留民會議員 高島惠美造 自見梅治 西山捨吉 西出甚太夫 青山秀一

錦州大馬路 錦縣汽車公司 矢津田之英

錦州大馬路 栗原洋行

錦州東街 大信利

錦州木馬路三丁目 玄洋公司

錦州飲食店組合

カフエーミカド 電話一〇番

サロンツバサ 電話三〇八番

カフエーパリジヤン 電話一六番

錦州大馬路三丁目 大西傳助

錦州大馬路二丁目 凌川館本店

錦州大馬路三丁目 カフエーベニヤ

錦州驛前 カフエーOK

錦州驛前 カフエー日の丸

錦州大馬路二丁目 鶴屋

滿洲日報錦州支局

開原

開原地方事務所 島一郎 宮地一元 三原時雄 中野常春

(イロハ順) 井上正義 千々和正彦 大橋芳彦 渡邊力 川島定兵衛 加納盤城 上郡山九效 横山多藏 中山幸作 上野幸一 久保親治 矢口健男 江尻喜峯 佐竹令信 柴田亮一 關野芳造

朝鮮銀行開原支店 電話一〇〇番

正隆銀行開原支店 電話一一〇番

滿洲銀行開原支店 電話八〇番

國際運輸株式會社 開原出張所 電話三三・二〇九・七九八番

開原金融組合 電話二九三番

開原取引所信託株式會社 電話一三五番

開原電燈株式會社 電話一二〇番

開原附屬地商務會 正會長 王執中 副會長 陳香甫 電話二一番

開原市場株式會社 電話(五三)二四〇番

合資會社 開原屠獸所 電話三〇一番

滿洲國協和會 開原辦事處一同 西豐分處 昌圖分處

開豐鐵軌汽車公司 常務董事 康季封 顧天泰 王德印 監察 王鎮彊 張成箕 高棠茹 經理 宋壽松

藥種商 太田藥房 電話三一七番

旅館料理 二葉館 電話二八・三二八番

カフエー 開原會館 電話三六番

料理仕出し ニコニコ 電話二六五番

開原縣公署一同

精米業開原公司 電話三八三番

洮南

洮南縣 縣長 齊鄉 參事官 永井正 副參事官 岩尾精一 警務指導官 井村吏 同 浦山德太郎 同 岩元一雄 總務課長 孫炳輝 警務課長 許越衡 內務課長 王廼武 教育課長 于香九

洮昂 齊克 洮索 鐵路局

株式會社 正隆銀行四平街支店 洮南派出所 洮南東昌泰內

日刊漢字 大同日報 社長 横峯勇吉 社址 洮南富文街

國際運輸株式會社 洮南營業所

洮南日本居留民會

洮南電燈廠

洮南朝鮮人民會

撫順印刷株式會社 洮南出張所

客室完備 親切叮事 萬國旅館 洮南同樂街 電話交通一六七

カフエー ミス洮南 洮南康樂街

洮南康樂街 食道樂 鈴蘭 宮崎六郎

洮南康樂街 食道樂 高砂

カフエー アルシヤン 洮南老馬市

洮南康樂街 御料理 青楊

洮南康樂街 御料理 松芳樓 支店 白城子城內

洮南康樂街 御料理 藤の家

洮南同樂街 御料理 翠山

朝鮮料理 蓬萊亭

洮南康樂街 南滿旅館 川本與賀郎

洮南三多中街 山崎醫院 院長 山崎朝次郎

洮南同樂街 齒科 大同醫院 村上敏 高木昂

洮南興隆街 百貨店 福永號

洮南興隆街 雜貨卸商 松浦悅公司

お正月を銀盤に遊ぶ

鏡ケ池リンク

聖上陛下出御 政始の御儀

四日嚴かに行はせらる

【東京四日發國通】天皇陛下親しく御政務を執らせ給ふ目出度き日を皇室儀制令に政始の儀と御治定特に宮中喪の關係なく行はせられることになつてゐるので、四日右の御儀を宮中東一ノ間で御擧行

午前十時に先き立ち齋藤首相、山本内相、倉富樞府議長、湯淺宮相等何れもフロックコートの通常禮裝に喪章を着用して宮中に參内、陛下の出御を待ち奉る

天皇陛下には同十時陸軍式御通常禮裝の御胸間に大勳位副章御佩用、左腕には喪章御着用遊ばされて林式部長官の御前行、牧野内府、鈴木侍從長、本庄武官長、侍從同武官供奉して參列諸員最敬禮中を御儀の間正面玉座に着御遊ばされると、内府、侍從長、同武官長、堀切内閣書記官長、大谷宮内次官、宮内書記官順次御間の扉内に候し侍從同武官は扉外に控へて御儀に入る、かくて齋藤首相は謹嚴な足どりも靜かに陛下の御前に參進

内閣總理大臣正二位勳一等功二級齋藤實奏、神宮祭主申昨昭和八年中神宮恒例諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和九年一月四日

と奏上次いで湯淺宮相は

宮内大臣正三位勳一等湯淺倉平奏昨昭和八年中宮中諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和九年一月四日

と奏上陛下には一々御うなづき遊ばされて御聽取、同十一時御儀終了、諸員最敬禮中に入御遊ばされた

大同三年を迎へて愈よ躍進する〝綏化〟

近藤縣參事官來奉談

【奉天特電四日發】北滿の寶庫開發に多忙を極め寸暇を有たぬ綏化縣參事官近藤平次郎氏は正月を利用し公私の用務を帶びて來奉したがヤマトホテルで語る

綏化は北滿では既に主要都市の一つであり市民四萬を數へて居る、日本人は未だ數十人にしか達して居ないが舊政權の最高潮だつた中國十六、七年當時の繁榮に達することが出來た、縣民は大同元年の匪禍や水害に苦しんだが二年には非常な豐作で到るところ歡喜に燃えて居る唯豐作のために價額が下落し收入が割合に少なかつたことは事實であるが元年度の如き食ふに困るやうなことはないので喜んで居る、匪賊は追ひ詰められて數十名の者が逃げ迷つて時々縣境から現れるともあるがもう全く問題でなくなつた、將來は滿洲の寶庫だといふことが言ひ度いのであるが實際北滿は穀物に於ても鑛物に於ても實に豐富であり未開拓だ、この開拓に經濟的採算を採り得るやうにするとが重大要件であらうが交通網も第一次の軍事工作に次いでもうそろそろ第二次の產業工作にかゝらねばならない事だらう、北滿は今比較的薪炭類が少いやうだがこれも無限に存在する小興安嶺よりドシドシ掘り出し採り出されることになることだらう、既に一般に知られてゐる如く北滿の小麥は最も良質のものであり其の將來は大に期待されてゐる

料で農業に好適であるといふのだから有望な譯だ、拉濱線の開通はハルビンを中心とした北滿にとつて實に大きな發展へのスタートを意味する、北安鎭は日本人二千人を數へるほど急激な發展をしてをり日用品においても全く南滿主要都市と變りはない、今年はいよいよ鮮人農民移民の具體化に進みその水田は少くとも一千天地の工作にかゝれるやう總督府より九十パーセントの援助を受けるべく既にハルピン領事館で交渉中である

各河川流域の著名な金廠（二）

春に因んだ黃金物語

砂金は河の砂に交るものであるからその產地も河の流域によつて大別するのが判り易いが今この方法によつて北滿の產金地をあげると次のごとくになる

一、額爾古納河流域
二、黑龍江流域
三、嫩江流域
四、松花江流域
五、牡丹江流域
六、穆稜河流域
七、圖們江流域

「何だ、北滿の河を全部あげてゐるではないか」といはれる讀者もあらうが、全く御說の通りでそれだから最近に北滿到るところに金を產するといつたわけである

◇

しかし到るところに金はあつてもその賦存量が乏しく一噸の砂を處理して一錢か二錢しかの金がとれぬとあれば採算上誰も手をつける筈がなく、結局それらの河の流域中、纏まつて金が出るところから開發されるわけだ、滿洲人はかういふ砂金鑛區を金廠と稱してゐる、それでは現在までどんな金廠が有名だつたか？

◇

第一の額爾古納（アルグン）河は黑龍江の上流で吉拉林、奇乾の兩金廠が最も名がある、孰れも前清時代からロシア人の盜掘に始つたもので、吉拉林は年に六十貫ほど產してゐたが一九二〇年の露支紛爭の際露軍の蹂躪を受けて未だに復活出來なかつた。

事變以來振はず奇乾の方もその鑛區内の白暴頭區のごときは民國二年の全盛期には一箇月に八七三貫の產金量あり一大ゴールド・ラッシュを現出したが近年は極めて不振である。

◇

黑龍江の流域地方には著名な金廠が列んで居る、まづ背滿洲第一と呼ばれた漠河金廠は額爾古納河と什爾略河との合流點を中心として東西四百支里、南北二百支里の廣大な鑛區でその中心の漠河には縣城も置かれた、この金廠の最盛期は清朝の光緖八、九年ごろで當時數萬の露支人がこゝに蝟集し彼らだけで一種の國家を形成して二年間に二千二百貫の砂金を盜掘した、これが清國政府の知るところとなり李鴻章が軍隊を派遣して討伐した事もあり、爾來漠河金鑛局を設けて繼續したが、北滿事變以來警備十分ならず盜掘が多く漸次衰へた、最近は奇乾金廠と共に黑龍江省政府の經營する廣信公司の手に歸してゐたが、露支紛爭の際露軍の蹂躪を受けて未だに復活出來なかつた。

呼瑪金廠も民國六年までは採金夫が一萬三千人も居り年產二百貫を超へたがその後は振はない、古龍幹河金廠（後の餘慶金廠）は民國に入つてから發見されたもので百六匁といふ大金塊が出たことからラッシュの渦卷の中心となり一時は一萬二、三千人の採金夫が蝟集し一箇月に二百貫の金を產した事もある、遂溪金廠も民國五、六年頃から開かれた產金地で最近までの產金總量は六千貫に達したと推測されてゐる良鑛區である、その他黑龍河流域では大黑河より下流に觀都、太平等の金廠がありいづれも數千の人口を集めた大產金地である。

◇

嫩江の流域は大興安嶺を分水嶺として黑龍江流域に相對するものだがその發見は極めて最近で、即ち民國十二年邦人伊藤由三郎氏が餘慶金廠の奥を尋ねて初めて手をつけた所である、從來支那人は金は大興安嶺も黑龍江側の斜面にあるものとばかり思つてゐたのが伊藤氏のこの壯擧によつて北滿到るところに賦存することも明かとなり、一萬人に近い採金夫が殺到し民國十四年には四百五十貫の產額を示した。

◇

松花江流域地方では左岸に梧桐河及び都魯河の兩金廠が並んで居る、梧桐河は古い產地だが最盛期は大正六、七年ごろで一萬人に近い採金夫が集つてゐた、この金鑛局は曾て米國からドレッヂヤ（採金船）を四十萬元で買込み米人技師を傭つて東洋で最初の米國式科學的採金法を實施しやうとして失敗した記念すべき金廠だ、都魯河金廠も前清時代から開發され一時は盛んだつたが近年は殆ど駄目だつた、松花江の右岸流域地方には夾皮溝金廠があるがこれは蜊利、横川、依蘭の三地方の產金地を總稱した名稱で過去の產金總量は三千貫といはれてゐるが近年は匪賊の害で休業同樣となつてゐた、その他穆稜河流域では興隆溝、稜川、圖們江流域では蜂蜜溝、三道溝、八道溝等があり、殊に八道溝は事變後數千の朝鮮人が入り込んで採金してゐる【カットは梧桐河金廠の盜掘、寫眞は都魯河金廠の急造風呂に樂しむ採金勞働者】

關東軍司令部 四日初登廳

九日から本格的執務

【新京特電四日發】關東軍司令部では四日午前九時本年の事務始めで菱刈司令官首め全員登廳午後四時退廳したが、五日は新年宴會七日は日曜八日は陸軍始めで休み九日より本格的事務を執ることゝなつた

なほ四日午前十一時より友文倶樂部において第四課主催で第四課と軍出入記者聯盟の新年祝賀宴を開催スルメを肴に談笑裡に杯を重ね秋山課長の發聲で帝國の萬歲、關東軍及び友文倶樂部の萬歲を三唱、正午盛會裡に散會した

執政新年賀宴

【新京特電四日發】執政は三日午前十一時より部内勤民樓において政府各機關簡任官以上の要人七十餘名を招待新年の賀宴を設け一時過盛會裡に散會した、尙執政は當日出席者一同に金製藥盒を贈つた

ロビンソン孃 新京發大連へ

【新京特電四日發】既報シカゴ博滿鐵會館の懸賞に一等當選し十二月二十九日來京したフランシス・ロビンソン孃はヤマトホテルに一泊執政府國務院その他主要機關を歷訪新興國の建設狀況を視察し三十日は川崎外交部官代司長夫人主催の午餐會に臨み滿洲國側令孃十九名と歡談して滿洲國建設狀況に關する認識を高め外交部から贈られた各種資材に旅囊を肥やして午後四時半發列車にて離京大連に向つた

學生氷上フィガアー成績

【東京四日發國通】二、三兩日日光に行つた學生氷上フィガアー成績左の如し

一等　片山敏一（關院）七六・九
二等　長谷川繼男（慶應）
三等　渡邊善次郎（慶應）

▲各學校總得點

一等　慶應　一〇
二等　關學　一六
三等　明大　二一
四等　早大　三六

▲アイスホッケー

一回戰

明大　四―早　大〇
北大　四―東北大二

積雪十七尺 百年振りの大雪

裏日本一帶に大吹雪

【東京特電四日發】裏日本一帶は吹雪の被害に惱まされてゐるが新潟縣東頸城郡地方は積雪十七尺に上りところによつては百年ぶりの大雪といはれてゐる、このため電信電話杜絕し電燈のつかぬところ多く住宅も倒潰するもの尠からず住民は荒れ狂ふ吹雪の中に怯えてゐる、列車もいたるところ立往生し北陸、信越各線のダイヤは支離滅裂となつてゐる

四日初立會の五品市場

香爐礁に 絞殺體

滿人博徒か

三日早朝香爐礁管内第三區内に滿人の怪死體が遺棄してあるのを一滿人が發見屆け出てたが、沙河口署では直に武田警察醫を現場に急行させ臨檢したところ絞殺死體なること判明し年の頃二十七、八歲で相當な身なりをしてゐる等の點から賭博關係からの殺人ではないかと目下大活動を開始してゐる

集金を拐帶逃亡

女給と內地へ駈落か

市内敷島町六番地日光商會村上濤一氏方店員山口縣生れ三並勇二（三）は十二月二十八日關原に集金に赴き驛前吉川啓一氏方より千五百圓の集金を現金三百圓と殘額千二百圓を約束手形で受取り主人には商用で一寸營口に立寄つた上歸宅する旨打電したまゝ集金を拐帶逃走したので大連署に屆出でた

三並は豫てより市内西通カフエー白鳥の女給石川ハルの許に通ひつめて居り廿九日夜三並は營口より歸連してカフエー白鳥に赴き兩人連れ立つて保健浴場に入浴して宿泊を賴んだが斷られたこと判明、またハルはカフエー白鳥を三十日歸國すると辭めてゐるところより見て兩人共謀の上內地に逃走したものではないかと見られてゐる

臺灣直航（每十日出帆） 基隆、高雄行 山東丸

大連發　一月六日午後四時
基隆着　十日早朝午後出帆
高雄着　十一日午前

	基隆	高雄
特等	六五圓	七五圓
並等	二五圓	二八圓

大連汽船株式會社
電話七一三一番

埠頭廿四區より出帆
廿四區に前切符發賣所あり

黑龍江教育廳 不良教員淘汰

【チチハル三日發國通】黑龍江省教育廳では今回經費節約と不良教員淘汰の目的を以て去る十二月同省內にある中、小學教員三十九名（內日本人職員二名）に對し即日馘首を言渡した

安樂椅子

男のダンサー、名は舞踏教師とか先生とかいつて、有閑マダムからは「あたくしのダンスの先生」とか云はれる所謂「先生」方が大連にも非常に多くなつた。

……◇……

このごろ盛んに新聞の社會面を賑はすダンスホールのスキャンダルは主としてこの「先生」方を中心として起つてゐる、新しきものに獵奇を感ずるのが、成程近代人の心理狀態かも知れないが、有閑マダムや新しがり屋の藝妓が「先生」に興味を感ずる熱度といつたら、昔歌舞伎役者が持てはやされたと同じ程度だといふ。

……◇……

そこで「先生」方も寢不足勝ちの蒼白い顏に水白粉をつけたり黑のメルトンかなんかのダブルを着て、頭髮は無論、眞ン中からペタリと分けて……ホールからホールへと泳ぎ廻り、それで生活が出來るンだから世渡りは樂なもの、同じ「先生」の中でも妻も子もあり「舞踏研究所」なンて看板を掲げ社交ダンスの道德性を論じてゐる先生もあるが、戀愛遊戲の對照となるのは矢張りぐるぐる踊り廻る宿なし先生に多いさうだ。

新年の川柳と俳句

大島濤明

元旦

地球がぐるりと一廻りすると又芽出たい元旦が來る、春逝き夏來り秋去り冬終る、何年たつても同じことである、その正月が何が目出度いか、といへばそれまでゝあるが、人間生活の過程を着色する意味に於いて、新年は目出度いものとして置くことはいゝことである

一路を歩くにも同樣で只平々坦々たる道路では何の面白味もないがそのうちに坂あり峠あり、小徑あり、大道あり、直あり曲ありて歩く路にも趣味が湧く、朝起くれば飯を食ひ夜が來れば床にもぐる、毎日々々同じことを繰返してゐるばかりでは生きてゐても何等面白味を感ぜぬが、春くれば元旦の喜びあり、節分あり節句あり、夏となれば端午あり盂蘭盆會あり、秋の月明冬の焦躁、たゞ一ケ年のうちかうした出來事があつて生存に趣味が起り飽きが來なくなる

かゝる意味に於て私は年中行事をよいことゝ思つてゐる、殊に新年の瑞光は人の心を新たにし、來る年への勇氣を奮ひ起させる點に於いて尤もいゝ行事の一だと禮讚する者である、この新年に對する俳人と川柳子の感察を窺ふことも

太陽を禮拜し、祖先に謝し、萬の神に身の幸を希ふ、歲旦の儀はまことに靜肅崇高である、その氣分を俳人は

元日や神代のことも思はるゝ　守武

元日の儀式を照らす灯しかな　波舍

元朝や四つにたゝみし紙袋　蒼虬

と詠んでゐるが川柳では

正月は隣りからでもしやちこばり　古川柳

と皮肉つてゐるが元旦の嚴肅さは寧ろ川柳の方が如實に表現してゐる、最も緣起を尙ぶ元朝の

元日を起きて泣かざる我子哉　四子

の俳句に對し

元日に泣くは七歲未滿なり

元日や學者とならん志　世六鱗

俳句はこの位の處であるが、川柳ではかう言ひたい

一年に號令をする春となり　濤明

元日のはかりごとだけ念を入れ　同

歲末に於ける貸借關係の多忙さは川柳の書き入れであるだけ、債鬼を遁れた元日の心事を川柳は見遁さない

元日にいけしやあくと鮭へり　古川柳

元日は金で頤がぬ人通り　久坊

元日はまだ恐いから戶を開けず　古川柳

など人間苦を容赦なく突込んでゐるが、俳句では

初日

初日の句で思出すのは內藤先生の我國のものとこそ思へ初日の出　鳴雪

である、この莊嚴のうちに愛國の志を抱き、麗光と情愛とが十七文字に躍動してゐる、この境地に至つては假令川柳の達人と雖も叶ふまいといつも感心する、その外

天の戶に朝疑はあらじ初日影　林

日の光り今朝や鰯の頭より　麥村

この初日の莊嚴を川柳では

初日の出目先の島が邪魔になり　南丘子

と美しさのその先きの心理を詠んでゐる。序に私の句に

平等に世界が明ける初日の出　濤明

女の部屋（53）

林芙美子作
一木弴畫

情火（一四）

何時の間にかずる〳〵に引きこまれた眠りは、うなされる樣な重苦しいものだつた。

頭が燃える樣に熱い。動悸の度にずきん〳〵こめかみが痛む。智子の眼は腫れ上つてゐた。

眼が覺めたのは九時頃だつたが恰度日曜日だつたし、身體中がだるいので、起き出やうともせずに智子は床の中で仰向けになつて、やゝ靜まつた氣持でも一度昨夜の出來事を考へ直して見た。

彼女は持ち去られた處女性などに就ては少しも愛惜を感じては居なかつた。只、もつと樂しい、もつと香はしい、もつと幽しいものだとばかり空想してゐた事の、餘りにも理想と相違した實際に、激しい嫌惡を感じはじめてゐるのだつた。

秋山を憎んでゐるのでもなければ、自分自身を蔑すんでゐるのでもない、只男も女も引くるめて、あんな觀はしい營みをしなければならぬ人間が憎く疎ましかつた。

（社を止め樣か？でもどうして食べて行く？それに社を止めても男は他にまだ澤山ゐる事だし……）

そんな事を考へてゐる時彼女はふつと土方の事を思ひ出して、ドギツと心臟が止る樣な思ひをした。

轉動してすつかり忘れてゐた土方だが、彼女が想つてゐたのはあの男ではなかつたのか？

智子は觀念する樣に目を瞑つた。瞼に大きく映つた土方の顏は、然し次第に底の方から浮び上つて來て益々濃く、はつきりとして來る秋山の顏に蠶食されて、影薄く片々になつて消え去つて了つた。

柱時計が十一時を打つたので、智子は半病人の樣に力なく起き上つて、先づ窓を開け放つた。

新鮮な秋の空氣が、彼女の頰を快よく撫でて流れ込んで來る。何かの小鳥が何處かでキキと鳴いた。

智子は暫くの間、澄み渡つた秋空に白く柔かく浮動する綿雲に見入つてゐたが、寢亂れ髮を直しながら玄關に行つて鍵を外した、と途端に和服の男が彼女と面を接して立つた。

ギヨツとする迄もなくそれは秋山だつた。

秋山は、鋭く詰問する樣な眼で無言のまゝ睨みつける智子の樣子を、態と無視した樣に、快活に云つた。

——お早う、三十分位待つてたのよ。御機嫌如何？

そして彼女を自分の腕に抱き取らうとした。智子はきびしくその手を拂ふと、二三歩後退りした。

——いけません、歸つて下さい

秋山も二三歩進んで戸の中に入つた。

——疲れてれば歸つてもいゝけど、昨夜は君があんな風で話す暇もなかつたから、今朝にしたんだが、一應話だけしておき度いと思つてね。

——妾お話なんかありませんわ

秋山は一寸不快さうな顏をして

——そんな調子で物を云ふなんて、止し給へ、みつともない！

と叱る樣に云つた。

智子は、張りつめてゐた氣持がまたも意氣地なくも崩れ立つて行くのを感じて首垂れた、自分でも口惜しく思ひながら、何となく威壓されて了ふのであつた。

秋山は先に立つて智子の室へ入つて行つて、まだ片付けてない布團の端の處に立ち止つて智子が入つて來るのを待つてゐた。

新年俳句

島田青峰選

月落ちて御神燈ゆらぐ初詣
奉天 大川小雪
元日や禮者來ず賀狀二三枚
小平島 富部悠生
元日や短册古りて壁にあり
初凪や汀靜にかもめ浮く
二重窓の外は雪なり福壽草
安東 岩間凌雪
海原のはてより赤く初日の出
大連 菅野モト子
初日かげ忠靈塔を照しけり
周水子 喜代女
獅子舞の犬の睡りをさましけり
大連 糸賀正子
陽のさしてゐる初風呂にひたりけり
鐵嶺 梅林朗哉
社頭いま濃き影に浮く初明り
煙臺 中川壽香
元日の鳩に豆やる兵士かな
日滿のサイン並びし賀狀かな
周水子 芝蛇似光
大河の結氷白し初明り
大連 宇都宮嵐翠
追羽子の音ひびきたり領事館
鳶の輪に初空高う定まりぬ
大連 青海波
門松に犬戯れる朝哉
大連 富田江雪
灯を少し下げて向ふや初鏡
猿曳の厨覗いて去りにけり
撫順 山西風茶坊
初明り雪に影置く大鳥居
枇杷の花白々明けて初雀
樋の口の石蕗ほの白し初雀
旅順 石井未成庵
元日や社頭の杉に雪重し
大連 占部靜閑
大雪の夜は更けて行く歌留多哉
鐵道の警備に明けし初日哉
撫順 橋本喜久太
雲一つなきこの浦や初鳥
大連 中島瑛斗
元朝や心ばかりの御燈明
大連 清水辰雄
初日の出曠野の果の塔の上
大連 今宮樂靜
ふる里の山なつかしき初日かな
大連 花崎蕉村子
苔の香を汲む山の井の初日かな
初空をうつして湖の青さ哉

新年川柳

編輯局選

犬

大連 河東美津雄
遠吠えの一しほ淋し雪の夜
昌圖 浦上風流
非常時の犬殊勳をかたる犬の墓
撫順 石川小冠者
書留へ吠えつく犬を詫びてゐる
愛犬の運動へ出るいゝ暮し
大連 外山角照
犬にまで世辭をいつてる御用聞き
大連 船橋默山
番犬にそつと口笛吹いて過ぎ
大連 武田留吉
遠吠えに警戒線は緊張し
奉天 西田柿の家
勝ち戰軍用犬もうれしさう
衆目を愚にして街の犬のエロ
大阪 松元重治
遠吠えの犬へ枕がよく動き
撫順 坂本草人
ランデブー犬が覺えのある男
大連 寺山青々庵
子がなくて犬を抱く身の淋し過ぎ
滿人の警備と賴む犬の數
大連 中川知美子
先づ犬を褒めよと小僧教へられ
犬の戀ちと持てあます女學校
遼陽 杉田牛生棒
討匪行犬先登をきつて驅け
セパードの殊勳美談の內に入れ
大連 渡邊雨明
犬に子を產ませて夫婦子が出來ず
獵季まで犬懸命に無駄を喰ひ
開原 古市贅六
セパードが來てから夜警首となり
犬年の笑點の新妓よくも賣れ
巡察と共に軍犬眼は光り
大連 光石榮子
分娩に飽いてチンコロ膝で飼ひ
仲山 上田烏嘲
功績章つけてもやつぱり犬の顏
大連 今中市郎
新聞屋遠くで投げるブルドック
安東縣 中島清次
後家の犬男見るたび吠え廻り
京城 中水れい果
髮を結ふ間もお妾犬を抱き
ブルドック非常時といふ顏でくる
大連 畠中充穗
犬抱いて女は外に用がなし
撫順 日高阿喜良
首卷のキツネへ仔犬吠えかゝり
初刷の口繪に犬はかしこまり
禮服は喜ぶ犬を叱りつけ
犬が來て舞妓きれいな顏へ泣き
大連 杉田佳
ルンペンの心も知らず犬はざれ
大連 松添庸夫
負けた子は口笛吹いて犬を呼び
新京 片寄美城
名犬の價に夜業の賑やかさ
義理の親意見をするに犬のこと
大連 宇都宮嵐翠
掛取のどなり込めない犬が居る
遣羽子を踊らして犬のつそりと
萬歲の叩こうとして犬が居る
京城 田代芳生
心中の二人へ犬が邪魔になり
番犬にされて小さく箱に住み
大連 中川虛舟
母親は玩具の犬を持つて吠え
旅順 土橋良成
非常時の犬の名前も陸奧長門
大連 渡邊斌
犬の藝欲しくてならぬいゝ匂ひ
手內職犬の遠吠え胸さわぎ
仁川 淡路歎波聽
野良犬と馴れて就職緣遠し
日向ぼこ犬の體溫媚びるやう
犬猫に劣る息子を偲ぶ雪
大連 渡邊あきら
子が一人欲しい暮しに犬の幸
木に登ることも軍犬鍊へられ
青島 正木琴舟
戀人の仲へシエパート牙を立て
兵卒を愛してる軍用犬

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)

満洲日報

本日本紙八頁

定價 一部賣 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通行 金一圓三十錢 特別行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 満洲日報社 振替口座大連六〇番

議會政治復興目指し乘出す政民兩黨
提携的氣運を基礎として共同目的達成に動く

【東京特電四日發】今期議會をもつて議會政治の復興工作上の重大舞臺とする政民兩黨は新春の屠蘇氣分を速かに解消して早くも對議會策を練らうとしてゐる、兩黨の提携問題は各々黨内事情によつて完全なる一致を見ることが豫期されないが舊臘中島男の斡旋による第一回の會合に對し返禮の意味の第二回會合がこの十日午後四時開かれる筈であつてこの會では前回以上にやゝ突き進んだ話合が行はれるものと豫想される、また選擧法問題を中心とする兩黨少壯派の連繫運動は相當根強いものがあり、これらの提攜を基礎として來るべき議會劈頭の質問演説において兩黨の作戰をある程度に協定しもつて質問を效果的ならしめ議會政治復興に關する共同の目的達成につとめることゝすべしとの意見が兩黨の間に高まつて來たことは注目すべきものがある

休會明切迫につれ提携氣運濃厚
但し實際問題では？

【東京四日發國通】政民提攜問題も新春に入り又そろ〳〵氣運が動いて來たやうであり熱海、逗子等に滯在中の兩黨幹部の内には個人的に往來して意見を交換してゐる向もある模樣である、而してそれ〴〵幹部が歸京の上で機熟せば又中島商相へ御返しの意味で兩黨首腦部懇談會や或は秋田議長を招待し議會振肅委員懇親會などを催し一層諒解の步を進める段取りで尚ほ兩黨少壯派よりなる十六日會も休會明け議會前に懇親會を催し議會政治更生のため申合せする筈であり、かくて議會に臨んだ上政策問題を中心に政民提攜氣運は漸次濃厚になり行くものと見られてゐる、唯民政では若槻總裁始め幹部中には政民提攜が現内閣を倒壞に導くことに向つて拍車をかける樣なことになつたら反對だとの意向も相當強く主張されてゐるし又政友會でも尚提攜には足並揃はず殊に鈴木總裁が贊成を表してゐないと云はれてゐるので政民提攜も愈々實際問題となれば一部首腦部の希望通りなか〳〵容易には具體化されぬ形勢にある

民政

【東京三日發國通】休會明け議會に臨む民政黨では松明けの十日頃に若槻總裁邸において質問の順序方法につき打合せ會を開き對議會策の根本方針を決定することになつてゐるが今議會においては四圍の情勢から相當痛烈な質問をなし政府を鞭撻督勵し内外の國策を誤らしめぬ爲め強硬態度に出るものゝ如くである、而して軍紀の振肅問題に就ては黨内に强硬論者多く政民協同動作に依り政黨本來の任務を果すべしと敦圍いてなり相當深刻な質問戰が展開されるものと見られてゐる

貴院の質問陣

【東京四日發國通】貴院が六十五議會に對し最も力を入れんとするのは衆院同樣農村問題と軍事費並に軍部に關する諸問題で殊に農村問題に就いては徹底的な質問をなし首相並に農相に肉薄せんとし質問者は既にその準備を開始した

陸軍論功行賞 四十萬人

【東京四日發國通】滿洲上海事件論功行賞につき今議會に行賞資金として交附公債五千四百五十一萬圓（陸軍三千九百九十六萬二千圓海軍一千五十七萬七千圓、其他三百七十九萬一千圓）發行が提出されてゐるが行賞關係者は陸軍では多門、植田兩中將、下元少將、厚東中將以下第二、九、十一師團、第二十四混成旅團將兵四十萬名に達する

兩黨の質問陣

政友

【東京三日發國通】第六十五議會は休會明け劈頭齋藤首相の施政方針の演說廣田外相の外交方針の演說高橋藏相の財政方針の演說がありこれに對して貴衆兩院が一齊に質問戰を開始し政戰が展開されることゝなつてゐる爲め政友會では質問陣を練つてゐるがこの質問戰に於ては財政、經濟、金融、農村問題、產業、時局匡救、外交及び軍事、思想、教育、社會不安の一掃等に關し徹底的に政府の所信を質し黨の具體的方針を明かにせんとする方針で少壯派の中には急激な意見も行はれ黨の大勢を反政府に導かんとする空氣や政黨連繫に依つて政府に農村對策その他時局に卽した政策を徹底的に實行せしめんとする空氣もありこれ等の空氣の發展如何に依つては重大な局面が展開される場合が發生しないとも限らない模樣である

反露暴徒の鎭壓に數千名を慘殺
外蒙古暴動の眞相

【滿洲里三日發國通】外蒙古庫倫に起つた暴動は情報杜絕し眞相不明だつたが一日左の通り判明するに至つた、卽ち十一月十八日ソウエート政權を喜ばぬ赤軍兵及び勞働者は蒙古人を使嗾し政權顚覆を企て左庫倫司法大臣、同秘書、蒙古騎兵聯隊長等を首腦者とし暴徒三萬二千蹶起し鎭壓のため北部國境貨會城駐屯赤軍騎兵三千は飛行機五臺、戰車八臺を動かし進擊を始め首腦者以下數千は慘殺され蒙古人は何れにか避難したと

滿洲國建設の途上を行く（下）

關東軍參謀長 小磯國昭

第一年度における歲出入の實際とその後の財政推移とに徵すればこの年度においても第一年度に優るとも劣らぬ歲出入の好轉が豫期され、財政の基礎は年と共に鞏固の度を加へ來つてゐる、一方多年支那軍閥を極めた舊紙幣の回收もその後頗る順調に進捗し、馬占山の發行した馬大洋も既に回收され熱河省の通貨たる熱河興業銀行券も亦回收を終つた、從つて當初豫定した舊紙幣全部の回收期限たる本年六月末迄には、ほゞ豫定通りその回收を完了し得る見込が確立した、かくて國幣の信用は愈々堅く、其價値は完全に維持せられ、しかも安定を續けてゐる、殊に奉天に造幣廠を新設して、銅貨、白銅貨の鑄造を開始して以來、國幣の流通は全國的に著るしくその滲かさを擴大して來た、斯くの如きは滿洲に於ける空前の事實であつて、滿洲國の朝野が通貨の統一安定を以て滿洲國善政の第一と稱してゐるのも決して誣言ではない、財政金融上におけるこの素晴らしい進步も建國後僅々二ヶ年有餘にして招來されたのであつて、嘗てリットン報告書に憤慨した當年に較べたら、實に隔世の感なきを得ない、併し乍ら財政方面に於て稅制の根本的改善を企て、國民負擔の普遍公平を實行し、毫末と雖も王道政治の名に乖かしめざるは將來に殘された大問題である、また金融の方面に於ても中央銀行の外各種金融機關の整備を計り、以て國民の間における信用制度を確立し、流通經濟の圓滿を期すること、は、今後に約束された大事業である、新春と共にその計畫施設の實現に向つて邁進すべきであると共に、その實現は日本國民の惜む所なき後援を俟つて初めて達成せらるべきである。

×

財政經濟の發達を說いて此處に至り、更に重要度を痛感するのは產業の開發である、埋藏されてゐる莫大なる富源の開發こそは滿洲國完成への永續的事業であるが、この方面の事業は漸くその緒についたばかりである。

一切が是からである、この舞臺には日滿經濟ブロック結成を目標として上演すべき重大工作を待望してゐる、尤も國策と國防の命ずる所に從ひ重要なる重要產業は既に國家統制下に置かれることになつてゐるが、自由企業の方面に日本國民の進出すべき餘地は頗る多い經濟建設の諸計畫中、石油、炭礦、マグネシユーム、曹安、電氣、採金、酒精、セメント、製麻、釀造、牧畜等の諸會社は既に設立せられ若くは設立の途上にある、かくして刻下の滿洲にとつて切な要求は資本の進出…

非常時に直面する我廣田外交の全貌
一九三四年の新方針

【東京三日發國通】帝國の國際聯盟脫退後の多事多端なる對外關係に善處する根本的外交方針は曩の五相會議で確立されるに至つたが愈々明年所謂一九三五年の非常時に直面するに當り廣田外相は右方針に則り積極的に各國に働きかけることになつたが期待される廣田外交の全貌は左の如くである

一、根本方針としては各國との多邊的折衝を爲し國際間の友好關係を助長す

一、對米關係は一九三五年の軍縮會議を控へ特にこれを重視し先づ兩國々交の親善關係確立の爲め國民使節交換又は相互誤解の一掃に努め來るべき軍縮會議を圓滿成立に導くためには日米間に豫備交涉を爲す用意を有す

一、ソウエートロシアとは北鐵讓渡交涉が暗礁に乘上げ以來怪文書事件等彼の不信行爲續出し最近モロトフ・リトヴイノフの侮日演說ある等兎角面白からざるものあり帝國政府として飽迄冷靜な態度を持し必要に應じては直接交涉により日支の親善を圖るの用意を有す

一、對支關係では最近の穩健なる國民政府の對日方針を諒とし當分靜觀を持し必要に應じては直接交涉により日支の親善を圖るの覺醒を待ち全面的好轉を期す

一、建國三周年記念を迎へる滿洲國とは日滿議定書の精神に基き飽く迄健全なる發達を助長し日滿經濟ブロックの確立を期し以てソ聯邦、支那と共に極東永遠の平和を將來せんとす

一、右の他各國との間に文化的連絡を取るため國際文化事業を促進し相互認識を深める事

一、經濟外交方面では世界經濟不況に伴ひ英國を筆頭に極端なる經濟的國家主義を採り英領インドその他植民地の對日關稅引上げ等の事實に鑑み經濟外交を確立す

一、對外的には貿易相互主義無條件最惠國待遇の確立互惠條約主義の完備を期待す

一、對內的には當業者の覺醒を促し輸出全般に亘り商工當局と連絡の上統制法規を樹立し更に自發的輸出統制を敢行し同士打ち的競爭を終熄せしむる事

一、而して關稅引上げの口實となる虞れある市價低廉を防ぎ國際的市價の吊上げをなす事

五日の本會議で大綱を決定
日印會商大詰に突進

【デリー四日發國通】大詰に入つた日印會商は愈々最後のスパート物凄く三日午後四時開かれた專門委員會で殘された細目全部の審議を完了した、卽ち日本側は松島、三宅兩氏印度側はスチユアード・メーク氏等出席し協定の實施に伴ふ施行細目につき全面的に研究した結果兩者間の意見全く一致し今や協定の正式決定とこれが實施を待つばかりとなつた、これは四日大阪で官民協議會が開かれる筈なのでこれに間に合はせるためであつたが當地での觀測によれば四日の協議會で日本側が受諾を決定するだらうから五日には日印本會議を開いて大綱決定すると共に印棉不買の撤回及び綿布關稅引下を日印間で相呼應して行ふことを決定し六日頃よりこれを實行すると同時にクオータの實施に入るものと觀測されてゐる

印度側打合せ

【デリー四日發國通】印度政廳は

日英會商も開始を希望

【ロンドン三日發國通】日…
…三日午後も代表團會議を開く開かれる本會議に備へる…議した事項全部に對し最後…合せをなすと共に協定…る打合せをも行ひ一切の…つて本會議の開かれるのを…かりである

綏芬河

満洲國寫眞風景 (2)

支那沿岸航路營業頓に好轉
貨客共漸次增加の傾向

中央軍敗退 福建軍浙江進入
杭州の人心動搖

【上海特電三日發】…九路軍と共產軍の混成部隊…軍を擊破して浙江省に進入…慶元を占領し中央軍は退却…無きに至つた、この餘波を…中央軍の一部は福建軍に…この部隊は劉珍年軍或は…部隊であると見られるが、…土匪は赤化さともに形勢…中央軍の負傷兵の杭州へ後…るもの多く杭州の人心は…搖してゐる

福建廣東合作 積極的交涉進捗

【上海特電四日發】福建、…

北鐵運賃改正運動白熱化

朝鮮總督府 トラック局營か
近く具體的調査開始

【京城發】內地に於ける貨車輸送の事業擴張は鐵道に一大强敵となり、最近一部…

大阪は廻米で洪水

荒木陸相病狀

金子伯爵記親授式 三上博士に旭日大綬章

【東京四日發國通】明治天皇紀編纂の大業完成に伴ふ元臨時帝室編修局總裁金子堅太郎子、編修官長三上參次博士の行賞は愈々四日午後一時左の如く宮中に於て金子子に對しては湯淺宮相侍立の下に伯爵の親記を、三上博士には齋藤首相侍立の上、旭日大綬章の夫々親授式を行はせられた

元臨時帝室編修局總裁 樞密院顧問官正二位勳一等子爵 金子堅太郎
動功に依り特に伯爵を授く
元臨時帝室編修局編修官長正三位勳一等 三上參次
授旭日大綬章

英國璽尙書の極東訪問否定

【ロンドン三日發國通】エデン外務次官が今回新に國璽尙書の要職に拔擢された結果、一部に種々の臆測が傳へられ甚だしきは新國璽尙書が近く極東を訪問し帝國政府に對し聯盟復歸の希望を表明するのだらうとの與太報道さへ傳へるものがあるが英國政府當局は右報道を全くの出鱈目だと一笑に附してゐる

歐洲向運賃 當分强保合か

歐洲向大豆運賃は十二月の輸出が二十萬噸を突破する盛況を示したので、自然下押氣配で二十七シル半乃至二十八シルを唱へて强調を演じたが、一月積はこれが反動として急落せずとも保合を豫期せられてゐたところ、一月の輸出も依然十五萬噸を越ゆるであらうと豫想せられ、運賃も大體二十五シル半乃至二十六シルで保合ふものとみられてゐる

中山新〇團長 海拉爾に着任

【ハイラル一日發國通】當地駐屯〇〇團長高波將軍の後任として豫てより決定してゐた中山新〇團長は本朝の國際列車にて官民多數出迎への裡に元氣に着海した、なほ高波將軍は明二日の國際列車で思ひ出多いコロンバイルの地を後に一路任地に出發する筈である

張警備司令官

【チチハル三日發國通】當地滿洲國警備司令官張文鑄中將は當面の重要軍務を携へ新年挨拶を兼ねて本日午前九時の飛行機で新京に向つた

うらる丸

社説

支那に旺になつた日語學習

通信にもあつたが、支那から來た人の談話によれば、最近殊に、彼の地に於て日本語日本文の學習が旺んになつたとの事である。これは此の五六年前からの傾向であるが、最近殊に旺盛になつたのである。此の傾向は必ずしも北支那に限らず南支那も同樣であるが、北支那にありては日支停戰協定後特に目立つ樣になつた現象である。併しこれは必ずしも日支親善思想が殊に濃厚になつたといふ意味と早合點してはならぬとの註釋がつけてある。蓋し五六年前から殊に日語研究熱が勃興したのは、今まで盲目的に排日をやつて見たが、格別効能が見えないので日本といふ國は一體どういふ國であらうか、今までの見方が間違つてゐたのではなからうかとの反省心が起つて、日本を更めて研究しやうといふ考が起つたのが第一の原因であつた。從來の排日家の中でも、戰には先づ敵を知る必要がある。排日を徹底せしむるには日本を知らねばならぬ。それには日本の新聞雜誌を讀み、その歷史や國民思想を知る爲めに日語日文を知る必要があると公然論ずる人があつた。

◇

尙その外に自國の建て直しの爲めには、日本の明治維新當時及びその後の歷史を參考にするがよい、その爲めに日語日文を知る必要があると考へたのが第二の原因である。それから、日本の學術の發達は頗る高い程度に達してゐるから、それを學ぶ必要があると考へたのが第三の原因である。蓋し、世界に知識を求めねばならぬが、殊に科學は支那に未だ發達せず、普及もしてゐない。併しこれを西洋語で學ぶは勞多くして効少し、日本の近來の科學の發達は見上げたもので、決して歐米の糟粕を嘗むるものではない。而して日本語日本文は、歐米語、歐米文を學ぶよりも容易であるといふのである。

◇

以上の理由によりて日本語日本文の研究學習が、五六年前から盛大になつたのであるが、最近に至りては、排日運動は失敗なること識者の間には既に明白になつたのみならず、日本は歐米を相手に、文化、經濟の戰ひを續けて少しもひるまず、國際聯盟を脫しても歐米諸國は一指をも着けることは出來ず、却つて、着々日本から全世界が壓迫されてゐる形になつたことを十分に了知するに至つた。日支停戰後に至つては、益々此の感を深くして、日本に對する驚異の念が殊に高まつた。

◇

尙ほ注意すべきは、支那自身の產業は發達せず、いかに排日貨をやつて見ても、結局は日本品を容れねば國民經濟が持てない。日本品を容れないとすれば歐米品を容れねばならぬが、それは甚だ價格の點で苦痛である歐米自身が日本品と競爭出來ない狀態にあるのだから、支那はどうしても日本品を容れなければならないのである。故に多數の貿易商店では、從來歐米人を雇傭してゐたのをやめて、日本人のたしかな人物を得たいと考へるのが多くなつたとの事であるから、自然日本語日本文の出來る人物が經濟界に重要視さるゝに至つたとも聞いてゐる。これが殊に日本語日本文の學習熱を旺んならしめた原因であらう。

◇

右の如き次第にて、日語日文の研究學習の盛になつたのは、或は排日に一歩を進めるを目的と爲すものもあり、又は唯、自身、自國の利益の爲めにとの目的を有するのであつて、必ずしも日本と親善の爲めではない。

併しながら、その結果は、彼の國人が日本を理解し、日本との文化並に經濟の關係を深めるわけだから、自然に日本に親しむことにならざるを得ない。この點を考察すれば、今日の傾向は、日支親善の爲めに確實な道程となるべきものとして、甚だ歡迎すべき現象たるに相違ない。

創業十ケ月を經た鐵路總局躍進の跡

新線と質的改善とに將來への發展性確保

【奉天特電四日發】鐵路總局では創業十ケ月にして新年を迎へたがその間滿洲國の建設は着々と進みむしろ鐵路の最質的發展によつてそれが證明されつゝあるものゝ樣である

京圖線海克線の開通、近くは拉濱線の開通、これ等の延長增加の外其の質的向上は列車運轉時間の合理化、滿鐵社線との連絡的ダイヤの確立、優秀車輛の運轉車內設備改善の一として食堂車の連結、新春早々より列車書庫の設置を見る迄に至り其の外救急設備として簡便な諸醫療器具を備へるとか乘客に對するサーヴィスについては極力改善をはかり顯著な効果を收めて居る

斯かる內部的改善を行ふ外乘客にとつて旅の最大の關心事たる匪賊事故に對しては極力その防止につとめ優秀な警乘者を配置し或は裝甲車を配運し鐵路そのものゝ强化をはかると同時に沿線住民に對しては鐵路愛護精神を普及せしめ鐵路の保護安全をはかりその方法として沿線には驛を中心に愛護村の建設に成功して居り又一方沿線住民への直接的恩惠を味はせるべく慰安車を運轉し日用品の廉價提供諸娛樂品の提供施療其他により多大の成果を收めた

一方鐵道機能の最大部分を占めるともいふべき貨物輸送については滿洲奧地住民にとつて重大な必需品である鹽干魚については特別な低賃率を採用し、特產物については新春早々荷主に絕大な便益を與へる混合保管制度を採用する等その奉仕の改善が短時日に顯著な成果を着々現しつゝあるのは一に總局員の努力と手腕を語るものと云へやう

沿線住民の文化的指導、慰安車愛護村活動の外に路立小學校に對する積極的改善による沿線住民の啓發王道政治への動向に對する努力をも見逃すとが出來ないこれ等鐵道經營の附帶事業としての自動車網工作に對する積極的活動は鐵道の代用線として或ひはその培養線としての自動車網の加速度的增大を見つゝある、文化政治、治安、產業、所謂人類發展の先行者であり促進者であるともいひ得る交通の大部分を司る鐵路總局の短時日におけるこの發展は同局の將來性延いては滿洲の將來に對してよき約束の根源となるものであらう

こうした總局の機能發揮のための內部的改善は創業後に於ける路警學校の開設、近くは鐵路學院の開設「自動車係」の「科」へ獨立、警務處の擴大充實、その他救護規程表彰規程の制定によつて從事員の保護激勵につとめる外貨物關係の諸規程の制定近くは滿鐵及日本鐵道省よりの指導員の多數の採用、建設途上に在る總局の如何なる一擧手一投足も建設の一石たらざるものはない

斯くて一の有機體としての將來の効果的な活動の最大必須事たる機構の統一確立をはかるため重大懸案として總局と各局の配合按配は何殘されたものゝ一つである

井頭公園の制札

於東京　有馬藤太

◇十二月二十五日用たしの爲め吉祥寺に赴ける序に、井ノ頭公園を一見しましたが、其入口に楷書假名交の制札や指南圖が立てられて有ります。見物人は之を讀む爲め大抵二三分間佇んで居ます、私も其一人です。

◇漢字ならば一目見た丈で分明すべき事柄が、長たらしく、讀みづらき非能率的カナ文字、シカも常體に非ざる書體で書かれ有る爲め、何人も惱まざるを得ぬらしく、園內大盛寺の小僧さん？曰く「カナ文にしてから園規の反則者が多くなつたと聞きました、よむのが面倒なので好んで讀みられないからでせう」と。

◇阿佐ケ谷の自宅に歸ると、十二月二十日發行の貴紙が配達されて居て、其八相欄に今しがた見て來た井ノ頭の立札の事が出て居るので獨り苦笑を禁じ得ませんでした。

◇東京でさへコンな有樣です、況して滿洲と支那とは友邦隣國にして且つその滿洲に居る吾人同胞が、漢文に背くことが善い事でありませうか。假名があるから漢字と呼び、それを支那の文字と思うて居るのであるが、我國に採用して一千數百年、既に十二分に消化し盡くされ全然國字に成り切つて居る文字を邪魔にしてよいものかどうか。

◇而も我が漢字は之を讀む迄もなく一目見た丈で意味が分る「コンナ重寶な文字は世界無比で有ろ」と思ひ乍ら、今しがた井ノ頭立札を見て來た私が、二十日の八相欄を見て微苦笑したは無理ではないでせう。

滿洲銀行異動

滿洲銀行にては四日左の如く異動が行はれた

奉天支店支配人代理　矢野次郎
撫順支店支配人を命ず
安東支店支配人代理　吉村善吉
奉天支店支配人代理を命ず
本店營業課行員　平田熊夫
安東支店支配人代理を命ず
撫順支店支配人　梶浦滋
撫順支店支配人を解きハルビン出張を命ず

松岡洋右氏の朗かなお正月　タッタ二分で代議士を解消した松岡洋右氏、お正月には自宅に引籠つてお子さん達と朗かな歌留多取り【寫眞は閑居の圖、向つて左から震三君、松岡氏、志郎君】

國都建設の回顧と展望（上）

國都建設局總務處長　結城清太郎

先づ國都建設の根本問題である將來の人口增加問題について一言したい。凡そ都市の建設は將來人口が何ほどになるかを想定して計畫せねばならぬと思ふ、私共は計畫の責任上國都大新京の人口增加を極めて控目に見て計畫を樹てた　つまりこれ迄の舊長春の人口增率である五%を基準にして、五年にして十萬位の增加二十數年にして三十五萬位の增加と見たのである。然し交通、經濟及び政治のダブッタ要素から見て五十萬以上にもなる可能性ありと認め、人口百萬になつても困らぬ樣にその收容區域を保留することにしたのである。計畫は控目に見て居るが、事業は人口の增加に相應して執行することになつて居るから豫想計畫よりも人口が殖えた所で別に困ることは起らぬ。

世界各國の首都は人口五十萬以上であり、ワシントンの樣に單純な政治都市でさへ人口五十萬であるワシントンは十數軒の農村を首都とし首都とはいひ各州聯邦政府があるに過ぎぬのである。然るにこの新京は江戶が東京となつた樣に長春が新京になつた東洋人の町である。私は大體小東京を豫想して然るべしと思うて居る。ワシントンはニユーヨークには及びもせぬが、東京には大商業都市の大阪も較べにならない。新京は東京の樣に大きくはならなくとも東京の樣な傾向を多分に持つて居る。即ち中央集權的政府の所在地である日本全權府があり、何れ各國大公使館も駐在することゝなるが、この關係からしてもこれからといふ所である。この滿洲國においては新京は當然一國經濟の策源地、支配都市である。殊に統制經濟の滿洲國としては主なる日滿兩國の諸會社、銀行等の本社、支店、出張所等悉く新京に集まるとは明瞭である。恰度大連における滿鐵本社といふやうなものがこの新京に弗々と出來ることになる。

それから日滿兩國の軍隊が駐屯する、各宗教の本山が集まる、滿洲國各中央學校が建設される、更に十五萬の既設都市として持つてゐた交通經濟の中心都市たるの性質を更に增されることを注意すべきである。京圖線は既に完成したが、大賚洮南方面にも鐵道施設の可能性はある。國道は新京を大中心として各方面に建設され、その經濟範圍は廣まるだけである、現に公主嶺、四平街等の住民は新京迄買物に出る狀態であるから、今後は新設國道とバスの便によつて周圍各部城の住民も新京の小賣商業の顧客となることは明かと思ふ　その他一國地理上及び交通上の中心關係からの夥しき旅客の乘降客滿人大人の安住地、國際都市としての享樂施設等悉く人口增加の理由あるのみである。そして相當人口が增加するときは軍工業等は別とするも自然色々な工業まで考へ起されることゝなるのである。

要するに滿洲國の政治的、經濟的、社會的事情と、新京の地位から推察してこの新京は五箇年計畫を終れば人口合計は三十萬以上にはなるものと信じて居る。

さて斯の樣な人口增加の要素を具備して居る國都大新京建設の大同二年、即ち昭和八年における狀況はどうであつたかを回顧するにそれは實に慌だゞしき創忙そのものであつた。何れにしても計畫準備期間が極めて短く昨春四月の解氷期に直面して土地買收、道路、上下水道その他の公共施設を一齊に開始した樣な次第であるので、恰も戰場の樣な錯綜狀態を呈したのである。而して此等の公共施設諸工事は爆發的人口增加の要求の現はれであるが、官民諸建築の殷盛に常におされ氣味で色々に文句も頂戴し遺憾の點もあつたが、兎に角豫想以上の廣範圍に亘つて公共施設の大半を了し、どうやら官民一般の需めに應じ得たことは大方の御援助に據るものと深く感謝して居る所である。之を具體的にいへば大同大街と

滿鐵線に挾まれた興仁大路以北の約二百萬坪に亘る地域には道形工事を施し更に大體その半を占むる興安大路附近以北の地域に對しては道路鋪裝及上下水道その他の公共施設を終了して附近一帶の進出に新居住者に不便ながらしめたのである。大同大街と興安大路にはケーブル線に依り一基二燈の街路證明設備も出來て明るさを增し更に興安橋も完成した爲に、來春からは鐵道西側の病院やゴルフ場や競馬場に往來するには極めて便宜になつたわけである。その他大同公園は五割方完成し、白山公園は三割方、南嶺綜合運動場の野球場は八割方完成して居る。

◇

次に二年度中に新京に建築された家屋數は伊通河の東に新築された滿人住宅約五百戶を除き一千五百戶も概算せられて居り、本年の新京に於ける土木建築總工費は約一千四百萬圓に達したと稱せられて居る。然しおすなおすなの勢ひで家賃は一枚五圓といふ世界一の相場は依然としてその儘繼續されて居る狀態である。

諸建設中主なるものは國都建設局及び交通部廳舍、司法部廳舍、財政部廳舍、國道局假廳舍、大同自治會館、新發屯滿洲國有料官舍新京特別市々營住宅、滿洲國協和會住宅、滿洲中央銀行々舍等で更に日本側には軍司令部廳舍司令官及び參謀長官舍、將來の中央驛である南新京假驛、滿鐵社宅、東拓アパート等である。

土地の賣却開放は前後三回の公開賣却と、定價指名契約とに依つて興仁大路以北の地域一帶中、官公用地を除き殆ど全部賣却乃至その豫約すみの盛況である。尙之でも不足を告げ更に興仁大路以南順天公園迄の地域と滿鐵線以西の一部土地迄も契約すみの狀態にある

滿鐵用度事務所

關係人事異動發表

滿鐵商事部用度課を用度事務所に昇格することに決したことは既報のごとくであるがこれに伴ふ人事異動は四日左のごとく發表された

元用度課長　參事　鹿野千代槌
用度事務所長兼庶務課長事務取扱を命す
元第二購買係主任　參事　細海榮治郎
購買課長兼調査係主任を命す
元大連倉庫長　參事　伊藤吾一
倉庫課長を命す
元調査係主任　事務員　青柳龍一
庶務課庶務係主任を命す
元計畫係主任　事務員　早川與之吉
庶務課計畫係主任を命す
元計算係主任　事務員　香西角三郎
庶務課計算係主任を命す
元第一購買係主任　事務員　小佐厚
購買課第一購買係主任を命す
元庶務係主任　事務員　齋藤忠雄
購買課第二購買係主任を命す
元契約係主任　事務員　關清介
購買課契約係主任を命す
元大連倉庫第一現品係主任　事務員　島村宗雄
倉庫課第一現品係主任を命す
元大連倉庫第二現品係主任　事務員　倉智圓覺
倉庫課第二現品係主任を命す
元大連倉庫整理品係主任　事務員　佐藤良太郎
倉庫課第三現品係主任を命す
元大連倉庫發著係主任　事務員　石原清泉
發著係主任を命す
元用度課事務員　吉岡茂雄
奉天倉庫事務係主任を命す
元用度課八幡在勤員　事務員　大保時男
新京倉庫現品主任を命す

日下內務局長　七日發上京

關東廳の日下內務局長は久しく上京を見合せてゐたが七日大連出帆のはるびん丸にて上京することになつた、旅行日程は約一ケ月の豫定で用件は大した事でないといつて居るが、仄聞する處によれば過般問題となつた滿鐵改組に伴ふ關東廳の機構問題に關し關係各省に說明諒解を求むるものと見られてゐる

大連初市會

大連市會では六日午後一時から市參事會、同二時から第七十八回市會を招集するが、議題は左の如くである

一、元市長石本鏆太郎氏死去に付弔詞贈呈の件
一、元市長石本鏆太郎氏死去に付弔慰金贈呈の件

中村財務局長

關東廳豫算說明のため昨年十一月以來上京中であつた關東廳の中村財務局長は五日大連入港アメリカ丸で歸任すると

文部辭令

【東京四日發國通】
任旅順工大豫科教授（七等）　德永珂月
六高教授　奧村日出男
任旅順工大豫科教授（六等）

土肥原少將

奉天特務機關長土肥原少將は三日午後七時三十分着はとにて來連したが車中語る

正月の休みに三日ばかり保養に來た、奉天省內の匪賊は最近全く壞滅したと云つてよく、あつても精々五十人足らずの職業的鼠賊に過ぎない、匪賊工作も大體成功と云つてよく今は奉天省內は滿洲國の警察隊の力を以て完全に治安維持出來ることになつて居り匪害も事變前の東北軍閥時代より遙かに少くなつて居り王道樂土の實を擧げてゐる

近藤經理課長

遞信局本年度豫算につき中央當局と折衝中だつた近藤遞信局經理課長は一日歸任、その語る處により項目中削られたものは一つもなく、事業增進經費中一部を削除されたに過ぎず大成功を收めたので小包通關事務に關する設備費、人件費などを容認されたのを初め新京、奉天、大連（多分春日町）における各一ケ所の郵便局舍建設も愈々實現を見るわけである、近藤課長は語る

幸ひ項目中削られたものは一つもない、事業增進に關する經費も一切認めぬ方針を採つてなり手嚴しかつたが、これまた一部削減を見ただけで大體認めて貰つた

隨筆　新春隨感（上）

武者小路實篤

新年に別に變りはないと思ふが、しかし年が改まるのは何となく嬉しいものであり、あかるいものだ。今年こそはといふ氣になる。今年こそよき年であれ、さう云ふ氣になる。そして今年こそよき仕事をして見せるといふ氣になる。決心が改まり、心が何となく新鮮になる。齡をとるといふことがもう嬉しい齡でもないが、しかし新年を迎へるのは嬉しくないことはない。殊に子供が大きくなることはうれしい。僕の處には十一、九つ、六つの女の子がゐるがそれが新年と共に十二になり、十になり、七つになる。一日で不意に大きくなるわけでもないが、何となく愉快である。子供達は大きくなつたやうに喜ぶ。

しかし僕も子供にまけずに新年が來たことを喜びたいと思ふ。そして新しい年を無事に迎へたことを祝したい。

そして希望する白紙の年が來たことを喜ぶ。道ゆく人も嬉しさうだ。一休は新年を迎へることを冥途の旅にたとへたが、それは事實だが、我等はさう云ふことは忘れて、今年こそよき年にしたいと思ふ。自分の家業のよくゆくことを切に望む。新しい計畫をする。今年こそやつて見やうと思ふ。一歩進んで見せる氣になる。

新年と云ふものがなかつたら、我等はぼんやりするであらう。しめくくりがなくなるであらう。

シンガポールに二十年程住んでゐた友達の話だが、熱帶では四季の變化がないので、人が訪れて來てくれても、春だか秋だか、冬だか夏だか忘れ、何年前に來たか忘れがちになると云つてゐた。

冬はいいものでないかも知れないが、冬があるから春がある。秋がある。四季の變化のあることは我等には喜びなのである。浦島が何處へ行つたのか知れないが、常夏の國は夢の國ではなかつた。しかし我等は常夏の國で春を迎へるよりは、春夏秋冬のある處で春を迎へる方が喜びだと思ふ。

國々にちがう特色はあり、喜びはあるものだ。だから常夏の國には又常夏の國のよさがあるかと思ふが、我等は冬もある國に生れたことを喜んでいいやうに思ふ。

殊に冬の最中に正月がくるのは面白いと思ふ。之も習慣とは思ふが、正月は矢張り冬がいゝ。それも習慣として今のまゝがいゝ。昔の人は昔の方がよかつたかも知れない。ともかく正月は冬の最中、雪を連想する時、炬燵や蜜柑を連想する時である。寒さを連想する時である。

凧をあげたり、羽根をついたり、百人一首をしたりすることを連想する。それ等は正月と結びつき、子供の時の思ひ出と結びついて正月をなほ樂しいものにする。

いくつになつても樂しいのは子供の時の樂しかつた記憶である。

正月のたのしみを、子供の時の記憶が腦にこびりついてゐるからと思ふ。子供時代をすごした故鄕の思ひ出こそ樂しいものであらうと思ふ。正月は都であらうと、田舍であらうと、ひとしくたづれて、我等の心を新しくし、うきたたせるものと思ふ。

ネルソン炭坑崩壞

【プラーグ四日發國通】オセツクに於けるネルソン第三世炭坑の坑口崩壞し百四十名の坑夫生埋めとなり午前一時半迄に十六名の死體が發掘された崩壞に伴ふ坑內出火のため救援作業は全く放棄の狀態である

大觀小觀

三日元始祭例年の通り、但し今年は宮中喪の爲め御親祭遊ばされず四日には御政治始めの御儀滯ほりなく終了▲愈々本年の政機が動き始めたわけだが、動き方はまだ頗る緩漫▲二國一黨論など、實際問題になるのは程遠しと見られ、政民合同說が聊か動かんとしつゝある▲貴衆兩院でも、諸問題はいろいろに入れてあるやうだが、まだ蒸しがあがらず、臼に入れて搗くまでには時間がある▲但し去年から持越しの日印會商は漸く蒸しがあがつて、愈々今明日搗かれさうだ、さてこの餅の出來ばえ如何、その又形は丸か四角か▲英國新國聯事務局長が出掛けて、日本に聯盟復歸を勸めるだらうと、英國一部での取沙汰▲英政府は一笑に附してゐるが、こちらにても一蹴に値せず、今更國際聯盟などは問題であるまい▲黑龍江省に、中小學教員卅九名の不良淘汰斷行があつた、中には日人職員二名もある▲優良の拔擢不良の貶黜に、日滿人の區別なく公平なるはよい▲十一月の外蒙反赤暴動、首謀以下數千は斬殺されたさうだ▲一時鎭壓されたとしても雷同の蒙人は[illegible]となつた空氣は抑壓しきれるものであるまい。

＊ラヂオ＊

大連 JQAK

一月五日（金曜日新年宴會）
▲午前六時三十分ラヂオ體操第二
▲午前七時ラヂオ體操第一
▲午前十時レコード
▲正午時報
▲午後〇時五分ニユースレコード
▲午後三時三十分ニユース
▲午後六時ニユース
▲午後六時三十分（東京より）太神樂「神樂調」丸一鏡味小仙、同小松同龜造、同愛之助、同仙壽郎、はやし連中
▲午後七時（大阪より）詩の朗讀（西條八十詩集より）（イ）およばれ（ロ）冬の朝唄（ハ）ひつじ（ニ）雪の夜がたり作曲朗讀岡田嘉子　伴奏大阪ラヂオオーケストラ、作曲並指揮橋本國彦
▲午後七時三十分（東京より）浪花節木村友忠
▲午後八時（東京より）歌謠曲（一）譯小唄西條八十作詞中山晋平作曲（二）港の灯長田幹彦作詞松平信博作曲（三）和洋合奏「奉祝曲」村越國保編曲（四）勝太郎おけさ佐伯孝夫作詞（五）鴨綠江（詩吟入）佐伯孝夫作詞（六）萬歲音頭佐伯孝夫作詞中山晋平作曲、小唄勝太郎、伴奏日本ビクター管絃樂團、指揮村越國保
▲午後八時三十分時報、ニユース氣象通報

大倉土木株式會社(常務取締役)

林田清一

林正春

河田烈

竹田儀一

角田不二男

永井柳太郎

中田金司

丁士源

一、資本金　壹千貳百參拾萬圓
一、拂込金　壹千拾參萬四千圓
一、積立金　六百萬圓
一、製造能力　貳萬貳千貳百バーレル

日清製粉株式會社

東京市日本橋區小網町一丁目二ノ四

支店　名古屋、神戸
出張所　門司、小樽、大連、横濱
工場　館林、宇都宮、水戸、高崎
佐野、鶴見、名古屋、神戸
岡山、坂出、鳥栖

製圖用紙
方眼紙
透寫紙
感光紙

星名刺本舗
櫻井大二郎商店
東京・日本橋・馬喰町
電話浪花五〇〇〇番(代表)
振替東京四一〇番

諸星油墨公司　上海逢路十五號
奉天分行　奉天城内大北門裡　電話四〇一五番

孔雀印・印刷インキ製造販賣

設備完成
優良精良

株式會社 諸星千代吉商店

横濱市中區久保町一一一七番地

東京支店　東京市京橋區寶町二丁目九番地
大阪支店　大阪市南區鍛冶屋町二十七番地
名古屋支店　名古屋市東區大津町五丁目七番地
横濱工場　横濱市中區久保町千百十七八番地
程土ケ谷工場　横濱市保土ケ谷區保土ケ谷町

王子製紙株式會社

大連汽船株式會社

東京出張所　東京丸の内丸ビル
電話丸ノ内三六二三

撫順炭
一手販賣

撫順炭販賣株式會社

本店　東京市麴町區丸ビル内
若松出張員　福岡縣若松市宮下町一ノ三〇七
名古屋支店　名古屋市中區新柳町住友ビル内

鞍山銑鐵
特約販賣

大阪支店　大阪市東區安土町二ノ五六
大連支店　大連市山縣通大倉ビル内
伏木出張所　富山縣伏木町古國府九四

龍印並双獅子牌　印刷用インキ
製造元
川村喜十郎商店

本店及工場　東京市本所區石原町三丁目
大阪支店　大阪市南區鹽町通二丁目

滿洲國販賣所
福盛號紙莊　大連市監部通四二
同支店　營口永世街(德記洋紙店)
同支店　哈爾濱道外南五道街
紙業公司　奉天城内鼓樓北路東

營業科目
製版用
銅版亞鉛
地金商

臼井半太郎商店

東京市神田區豐島町六番地
電話浪花(67)三三八二番

取扱品目
絹及人絹織物、綿布、卓子掛、絹寢卷、蒲團、ワイシャツ、ネクタイ、洋服、各種織物加工物、メリヤス類、陶磁器、漆器、帽子、印刷インク、化粧品、電球、金銀モール、コルク製品類、百合根、菓子、醬油、肉製品、漬物、箱根物産、貝細工、寒天、農具、毛糸、雜貨

神奈川縣東亞輸出組合

横濱市中區日本大通

駐在員　奉天商工會議所内
加藤孝

犬の話

關東軍獸醫部長 獸醫監 渡邊中

戌 の歳といふので急に明るみに犬が役を買ひ出たやうであるが、大體日本では犬は損をしてゐる「犬なんか」と云ふ氣分が世間を支配してゐるので、輕蔑の場合に引合せらるゝ事多く憂目を見てゐる譯だ。スパイの事を犬といふ「夫婦喧嘩は犬でも喰はない」、犬の樣な奴、犬のやうにお尻が輕い、犬のやうに嗅ぎ廻る、等々餘分迷惑千萬と犬は考へてゐるだらう。それが急に犬の流行といふ譯合でもあるまいが、當今のシエパード種牡の如き交尾料が一回で百圓位のものはザラにある。孕むとなるも產れぬ內に名犬の種とあつて隨分危險ではあるが百圓の相場さへつくので、仔犬に一升つけて貰うてくれてといふた時代とは全然夢のやうに違うてゐる。雜種でもこの頃は馬鹿に出來ない、東京ではショウウインドウの內に怪しげな血統づきで賣品となり遊んでゐるのを見受ける。

元 來犬は牛馬羊豚のやうに產業上の家畜では無いから之れを飼養する目的も自ら違うてゐる。つまり家畜の生產物を利用するためで無くて寧ろ其の性能を利用し若くは愛翫するために飼養せらるゝのだ。勿論犬の皮革が特に滿洲にては相當必要なもの、又其肉が朝鮮にて食用に供せられるにせよ云はゞ一部の用途であつて、本來の目的は狩獵とか軍事とか警戒とかに利用しまた其性能を愛翫するのである。元々動物の中でも性能の最も發達せるは犬と猿であるが犬は往古から人に愛撫せられ家族の一員として飼はれた特別待遇のものであるが、猿は犬の樣に家族の好伴侶者と云ふ譯にゆかない。

現 今犬の種類は大約百四十八種あるといはれて居る、その分類も用途によりて色々に分けられるが、今一番有能な、例へば滿洲軍用犬協會の軍用適種犬に就いて見ると

一、牧羊の管理又は其保護（野獸や盜賊に對して）に使用せらる

二、警察用としては古くから獨逸白耳義で使役して居たが歐洲大戰に際會し直ちに軍用犬として偉功を樹てた事は餘りにも有名である、平素は刑事犯罪者の搜索及追跡、囚人の護送、警邏用及監視等が主な任務である

三、軍用としては傳令、歩哨、警戒、彈藥及糧食の運搬、死傷者の搜索等が主なもので、これ亦滿洲事變以來の業績は說明の程もない

四、番犬としては一般に家庭に、邸宅、倉庫、庭園、屋內、果樹等の番犬である、特に監守を命じた場合、例へば乘捨てた自動車、荷馬車或は物品等は決して他人には渡さんのである、近頃では百貨店の閉店後の見廻り、倉庫の夜廻りには實際有効に利用せられて居る

五、盲人の手引するもの、之れは繁劇な市街の交通路なども無難作に通過さして目的地に誘導するのでベルリンなどには失明軍人がよく助けられて居るのにぶつかる、獨逸、瑞西及米國には特に此の訓練所がある

六、護身用としては主人に向うて危害を加へるものあれば敢然と身を挺し外敵を防禦し自身の傷害など顧みない、滿洲では鐵道守備隊の軍用犬が如何に忠勇なる兵隊の伴侶であるか今更に說明する迄もない

七、家庭の伴侶として隨分廣場でキャッチボールだのスポーティングの相手に成つて子供たちを歡ばして居るが、此頃大阪で幼稚園通ひの車を挽かして居る人がある、乳母車にはかなり從前から利用して居る

八、映畫にリンチンチンの樣に、其他シルバー・ストリックだのピーター・ゼ・グレートなどの名犬はキネマファンに熟知の事である

九、赤十字犬としては遼陽衛戍病院で訓練して居る、其外水難を救助したとか、拾物を啣へて來たとか色々訓練次第で隨分利用せられて居る

敍 上は主として軍用適種犬たるシエパード、エーアデール及びドーベルマン、ピンシエル種に見る事であるがコリー種も之れに劣らないものがある。其他訓練により程度こそ低けれ作業をする種類がかなりある。たゞ犬の腦力つまり識別力が劣ると、例へば或る蒙古犬種の樣に無闇に勇猛性を發揮し吠えつく、イザと云ふ場合に勢力が盡きて終う樣なのは實用犬に成り難いのである、何種に限らず臆病な猜疑心の強い判斷力が足らぬ犬は、風で扉が動くを見ても鈴が鳴れる音を聞いても直ぐに吠え立てるのである。「宅の犬はよく吠えるので番犬としては持つて來いですよ」などと云ふ初心な飼主も漸次輕はづみに攻擊姿勢を取らない樣な悧巧な高級番犬が欲しくなるものである。屋內に愛翫犬テリア種の小犬を、屋外にシエパードでも飼うたとすれば如何なる惡漢も闖入は先づ出來ないだらう彼等は電話や目覺や呼鈴等のベルは完全に聞き分け闖入者を嗅ぎ出すから、家人をして直に警戒の態度なり處置を執らしむるからである。

此 の如く家庭で犬を飼ふ目的は大きく請へば番犬、愛翫犬の外に狩獵犬がある。此等は專門の書に讓る事にして犬を飼ふ心境とこれから犬を飼ふと云ふ人の爲めに一寸つけ加へて置く。泥棒の用心に飼ふとしても、又特に家庭になじます爲には仔犬から飼はなくてはならない、夫れが却々容易の事でない、人の赤兒を育てる以上であるといふ事を豫め承知して貰ひたいのである。犬の仔が十四產れても滿足に育つのは其の半分以下である、經驗家でも產れてから一ケ月たゝぬに全部亡くした樣な事が尠くない、殊に良い種類程困難が伴ふ。だが各家畜の內で犬程に人間との間に親密なものはない、猫の仔ですら人の聲を聞くと二週間前後に眼が開くが、閉ぢてる間でも人の足音に人の方ににじり寄るのである。可愛い事は可愛い仔犬であるが、其の仔犬程惡戲好きのものはない。生後三四月と來ては下駄を咬へ出し繩緒を嚙みきる、靴を片方何處へか咬へ出し散々孔を開ける、植木鉢は引つくりかへす、泥の脚で家人に跳つく、盛裝の婦人などツクヾヽ仔犬が憎くなる。

一 番困るのは排泄物である座敷犬は油斷でも何んでも一切おかまひなしである。番犬として又矢鱈に吠えるのも近所に對して相應に氣が引ける、狂犬病の豫防注射でもして置かなかつたら御用聽きでもウッカリパク付いたら最後全く低頭平身でモウ之れきり犬なぞ決して飼ふまいと考へらるゝだらう。處が此の不愉快な事柄も一家團欒で油然飼犬に對する愛情が湧いて來る心境は犬を飼うて見て初めて知る會心である。一向に苦にならず、悉く成犬となつて夫々用途に依り報いらるゝのである。

本 年は戌年であるから氣紛れに犬でも飼うて見んなぞ考へる人たちの爲に決して樂のものでないと云ふ事を勸告し、同時にこの困難に打克ちたる際の愉快を分けたいものである。

滿洲の劍道界

高野慶壽

劍聖武藏は「劍法の理にまかせて諸藝諸能の道をなせば萬事我に師匠なし」と言つた。又江戶を兵火より救ひ無事大政奉還の大業を仕終うせた山岡鐵舟の如きを見る時、劍道の修行が何處まで歩まればならぬかを指示するものである。武藏は最後は劍法を萬事に應用し鐵舟の單身敵地に乘り込み生死を解脫し無我の境地に入つた如き、劍道の眞の姿は總て無我の境に入り、なす事が自然に天地の理法に適合し少しも誤りがなくなるところにある。時代はうつり、劍は一人の敵たり學ぶに足らずとか支那刀に比するに銃、大砲、毒瓦斯等の文明の利器を以つてする如きあるも、益々劍道の發達獎勵あるは强ち非常時日本の生んだ副產物でもなからう、滿洲國建國以來內地より個人に團體に劍の道の修業と共に滿洲國の姿認識のため來征の多くなつた事は誠に喜ばしきことで、日本と滿洲とを益々近づける基となり水杯までして出て來ると云ふ樣な騷ぎはなくなる事と思ふ

×

先年は先づ埼玉が遠征して來たこれに當るに全滿の精鋭を選んでの戰でである。古來埼玉は全縣下よく武を獎勵し劍の姿も俊敏を以つて聞えて居るのである。祖父佐三郎が全埼玉を統率しての戰ひである。警戒した如く前半戰に於いては完全に埼玉のためたゝきのめされた。攻勢に移るや息をもつかせず先をとるところ堂に入つたものである。學ばされる處實に大きかつた

×

それにしても滿洲方が頽勢にあつて今少しく不動心が肝要では無かつたか、何しろ良き試練であつた、幸ひ奧川五段名劍の冴えにより挽回し得た功績に感謝するものである。埼玉勢の後陣を承はる選士の案外手ごたへ無きには聊か物足りぬ思ひがする。それにも原因がある、現在埼玉には四五段を鍛へるべき上級者の少く、從つて後陣の連中が案外樂な練習をなして居つたのでは無いかと推量される

×

次に學生軍として明治、京城大學並びに京都武道專門學校の來征である。明治、京城共整つたチームであつた、然し現今學生界劍道の流であらうが腰の劍道といふより頭の劍道といふ樣に評し度いのである。然し中にも明治、京城の主將の如き堂々たる鍛磨の跡な選士もあつた事を喜ぶ。それにしても流石に武專は專門家の卵だけあつて實に堂々たるものがあつた、幸ひ將來子弟のため正しき劍道に邁進する樣切に自重を望む

×

試合は先鋒溝口初段に三段七人も枕を並べ同年輩の菅原四段のため大將以下四人まで手も足も出す氣で押され薙ぎ倒れた事は餘りにも慘めなものであつた。本年卒業される武專選士に對しては良き淸涼劑であり、滿洲まで遠征された甲斐あり、此の上もなき土產であつたらう

斯くして今年度は來征選士に對し土つかずの記錄を印したのである。修業の目的の一端のあらはれである勝利について考へれば確に誇りの一つである。幸ひ本年は內地遠征の企てありこの遠征に優秀な[illegible]ろ美な飾つてこそ眞に[illegible]て誇り得るものである。組織準備の任に當る方々には此の時期と人と鍛磨の方法等に充分力をそゝがれ萬遺漏なきを期する事を願ふ者である

ア式蹴球界を語る(下)

滿鐵蹴球部 光田孝

◇…わが大連蹴球聯盟は昨春の誕生以來目覺ましい活躍をなし、今や滿鐵蹴球部チーム、隆華チーム、大青チーム、工業チーム、師同チームをそのメンバーとして力強き歩みを滿洲蹴球界に印して居るものである

◇…アカシヤの花薫る五月からプールに水しぶき立つ七月迄大連運動場で展開された春のリーグ戰では、帝都で鳴らした本田、內藤、曾我選手新京より歸連の三吉選手を加へ意氣のあがつた滿鐵軍が覇權を握つた。炎熱燒くが如き盛夏も過ぎ

◇…青空高く上るボールに初秋を感ずる九月から落葉散る晚秋の十一月迄に行はれた秋のリーグ戰に於ては、前シーズンの覇者滿鐵チーム內藤、曾我選手の病氣、名島選手の轉動等の差支を生じたが古垣選手の歸連武安山口選手等の新顏を加へて戰つたが利あらず、隆華チームの優勝する處となつた

◇…このリーグ戰の他に四月には內地においてその强豪を誇る湯淺チームを迎へ、七月にはドイツ艦隊チームと歡迎試合をなし八月には拓殖大學チームを迎へ、九月にはイタリーの軍艦チームと對戰する等、滿洲の蹴球界を承る大連に適はしい幾多の國際仕合が展開されたのは異彩を放つものであつた

◇…十一月上旬の中等學校蹴球大會は大連一中、大連二中のA・Bチーム大連商業及び旅順中學チームの參加によつて華々しい若人の血戰がファンの血をわきたゝせた最後に大連一中Aと大連二中Aとの間に雌雄が決せられたが遂に前年の覇者大連二中の連勝するところとなつた。二日間に亘る仕合を通じ學生らしい元氣一杯のプレーに終始したことは嬉しかつた。あの元氣に練習と研究から獲得せる技術を加へて、もつと强くなつて欲しい。――關東州のみならず沿線の學校においても

◇…幾多の仕合中最も意義深く且つ思ひ出新なるは全新京チームとの對戰であつた。十月中旬新京に遠征した滿鐵軍は三對一のスコアを以て見事凱歌をあげたその後滿洲國體育協議會が各部統制を斷行したのを契機としてその一部門となるべき滿洲國足球協會が設立され、足球普及の爲全面的且組織的活動を開始した。その協會紹介を兼れ大連足球聯盟との連絡の爲に來連した全新京軍を迎へたわが滿鐵軍は十一月二十六日日滿交歡蹴球仕合を催した

◇…「日滿親善」なる言葉は各方面において叫ばれて居るが、我々はスポーツ人として「フットボールによる日滿親善」を絕叫するものである日滿人のプレーヤー及び觀衆が夫々一緒になつて仕合に陶醉してゐる光景は理窟無しになごやかな光景である。グラウンドを縱橫に轉々するボールは繙かに日滿人の心を一所にキヤッチしてゐる。フットボールを通じての日滿人間の握手は堅い。我々は滿洲國をして適はしい蹴球の發達のためには如何なる努力をも惜まないものである

◇…滿洲のア式蹴球が永き傳統の歷史と言ふ豐なる土地に根を擴げ滿洲國政府を始め各方面の援助と言ふ榮養を充分に吸收して、健かに成長する姿を見るのは愉快なことではないか

賀正 2594

羅津

滿鐵羅津建設事務所
桑原利英
野本謙治
福島三七治
沼崎寧
萩野朝陽
杉野謙三
成瀬武

滿洲土木建築協會羅津支部
西松組 田本辰次郎
大林組 櫻井謙二郎
大倉組 松田一人
同 橋本義則
長門組 吉田小大馬
松本組 數田薫三
鐵道工業 中島彦作
阿川組 梶原喜代治

羅津警察官駐在所
所長 前田美惠
濱野幸之助

羅津面長
齋藤長治

新安公立普通學校
佐藤秀雄
金錫昌
藤澤顯
田寅女

羅津郵便局
坂本兼勝
平松恒三郎
西村四郎

在鄕軍人羅津分會長
秋篠義一

咸鏡北道會議員
金琪宅

羅津商工會長
岩石憲人

木村清

滿鐵指定人夫供給
共進組
影平篤介
林七藏
中西良作

滿鐵指名製煉石炭
中島洋行

滿鐵指名
大阪電氣商會

滿鐵指名
久住商會
代表者 長井信治

滿鐵指名食堂部
宮下松次郎
藤野廣美

共和工業所羅津出張所

滿鐵指名親和モルタル工業
河手仲藏

（滿鐵御用）海陸運輸 內外貿易 三大組
富士商行
佐藤兵逸
森田馨介

學務委員
金京俊
申敬天

大林組配下
上村重行

鐵道工業配下
近藤多朔
樋口文藏
安龍康

西松組配下
上野仁右衛門
德川事務所

松本組配下
山本事務所

合資會社
大阪號
百貨部
橘醫院
保險部
土地建物部
貿易部
食堂部

羅津土地合資會社
和洋酒 食料品 米穀類
三昌洋行
三笠町

羅津製材所
古村米次郎

羅津魚菜株式會社
社長 梅田嘉十郎

羅津製藥貿易合資會社
代表社員 北村久七郎

豐住醫院

原地病院

宮本醫院

稻垣日本堂支店

アサヒ地下足袋代理店
川浪藥房羅津支店

羅津協會代表
中野榮吉

雄電羅津營業所
野村泰作

羅津土產
雲丹製造卸販賣所
竹下京美堂

若林鐵工所

司法代書人
菅繁雄

建築材料
堀江金物店

板硝子商
澤田商會

須藤洋服店

和洋雜貨商
迫喜之一

東洋生命保險代理店
旭金庫代理店
和洋百貨
坂田洋行

宮本金五郎

羅津市場
金淵學
金聖鉉

洋品雜貨
カガシヤ支店

和洋雜貨
岡崎支店

撞球キング倶樂部

海陸運送
三光商會

喫茶ヒトミ

滿鐵指名
原田義一商店

羅津料理屋組合

御料理 三穀
喜代香 信子 ぽんた 靜香 君子

御料理 秀の家
秀吉 秀美 秀香 秀次 秀勇 秀葉 秀代 秀丸 マサヨ ミツ ノブ

御料理 朝日
ミスジ 助六 若龍 戀路 靜枝 春代 小太郎

割烹 時壽
時壽 時次郎 時丸 時彌 時馬 時榮 時若 時香 時美

御料理 梅の家
梅千代 光勇 君女 京子 玲子 玉榮 福豆 奴

御料理 八千代
小太郎 〆治 秀松 歌治 五郎

レストラン・サロン・ミツワ
榮町

レストラン・サロン・ヤマト
本町

羅津飲食店組合

御料理 日の丸
二○加 日の丸 駒菊 八重子 京子 まり 春千代

御料理 春帆樓
入清力秀時イシ
帆龍彌勇サメ

御料理 丸葉
桃香 一丸 春駒 若福 牡丹

御料理 八八亭

御料理 羅興館
雲仙 桃花 春桃 明花 明月

御料理 明月

御料理 勝福

羅津ホテル
高砂旅館
鶴屋旅館
草島旅館
やまと旅館
信濃屋旅館

賀正

錦州・開原・洮南

錦州

平田重三

副領事 後藤綠郎

錦縣公署 縣長 馮廣民
參事官 上杉益喜
外一同

滿鐵錦州鐵道事務所 古閑正雄

市來清逸

錦縣 作野秀一

錦縣 電氣股份有限公司

木村土地企業株式會社出張所
天津泰信洋行出張所
清水孝祐
營業所 錦州驛前新市街地
本店 天津法界五號路四〇
出張所 奉天、北票、朝陽、西海口

錦州旅館業組合

錦州料理店組合

錦縣電報電話局

錦州新報社長 井下萬次郎

國際運輸株式會社 錦縣出張所

錦州大馬路 西海汽船公司

廣藤德松

錦州居留民會議員
八田健太郎
道脇毅
中川平治
竹内藤平
森川末吉

錦州居留民會議員
高島惠美造
自見梅治
西山捨吉
西出甚太夫
青山秀一

錦州大馬路 錦縣汽車公司 矢津田之英

錦州大馬路 栗原洋行

錦州東街 大信利

錦州大馬路三丁目 玄洋公司

錦州飲食店組合

カフエーミカド 電話一〇番

サロンツバサ 電話三〇八番

カフエーパリジヤン 電話一六番

錦州大馬路三丁目 大西傳助

錦州大馬路二丁目 凌川館本店

錦州大馬路三丁目 カフエーベニヤ

錦州驛前 カフエーOK

錦州驛前 カフエー日の丸

錦州大馬路二丁目 鶴屋

滿洲日報錦州支局

開原

開原地方事務所
島一郎
宮地一元
三原時雄
中野常春

(イロハ順)
井上正義
千々和正彦
大橋芳彦
渡邊力
川島定兵衛
加納盤城
上郡山九效
横山多藏
中山幸作
上野幸一
久保親治
矢口健男
江尻喜峯
佐竹令信
柴田亮一
關野芳造

朝鮮銀行開原支店 電話一〇〇番

正隆銀行開原支店 電話一一〇番

滿洲銀行開原支店 電話八〇番

國際運輸株式會社 開原出張所 電話二三三・二〇九・七九八番

開原金融組合 電話二九三番

開原取引所信託株式會社 電話一三五番

開原電燈株式會社 電話一二〇番

開原附屬地商務會
正會長 王執中
副會長 陳香甫
電話二一番

開原市場株式會社 電話三二四・五〇番

合資會社 開原屠獸所 電話三〇一番

滿洲國協和會 開原辦事處
同 西豐分處
昌圖分處

開豐鐵軌汽車公司
常務董事 康季封 顧天泰 王德印 王鎮彊
監察 張成箕 高彙茹
經理 宋壽松

藥種商 太田藥房 電話三一七番

旅館料理 二葉館 電話二八・二二八番

カフエー 開原會館 電話三六番

料理仕出し ニコニコ 電話二六五番

開原縣公署一同

精米業 開原公司 電話三八三番

洮南

洮南縣
縣長 齊鄉
參事官 永井正
副參事官 岩尾精一
警務指導官 井村衷
同 浦山德太郎
同 岩元一雄
總務課長 孫炳輝
警務課長 許越衡
內務課長 王廼武
教育課長 于香九

洮昂 齊克 洮索 鐵路局

株式會社 正隆銀行四平街支店 洮南派出所 洮南東昌泰內寓

日刊漢字 大同日報
社長 横峯勇吉
社址 洮南富文街

國際運輸株式會社 洮南營業所

洮南日本居留民會

洮南電燈廠

洮南朝鮮人民會

撫順印刷株式會社 洮南出張所

客室完備 親切叮寧 萬國旅館 洮南同樂街 電話交通一六七

カフエー ミス洮南 洮南康樂街

食道樂 鈴蘭 洮南康樂街 宮崎六郎

食道樂 高砂 洮南康樂街

カフエー アルシヤン 洮南老馬市

御料理 青楊 洮南康樂街

御料理 松芳樓 洮南康樂街 支店 白城子城內

御料理 藤の家 洮南康樂街

御料理 翠山 洮南同樂街

朝鮮料理 蓬萊亭

南滿旅館 洮南康樂街 川本與賀郎

山崎醫院 洮南三多中街 院長 山崎朝次郎

齒科 大同醫院 洮南同樂街 村上敏 高木昂

百貨店 福永號 洮南興隆街

雜貨卸商 松浦悅公司 洮南興隆街

お正月を銀盤に遊ぶ

鏡ケ池リンク

聖上陛下出御 政始の御儀

四日嚴かに行はせらる

【東京四日發國通】天皇陛下親く御政務を執らせ給ふ目出度き日を皇室儀制令に政始の儀と御治定特に宮中喪の關係なく行はせらるることになつてゐるので、四日右の御儀を宮中東一ノ間で御擧行、午前十時に先き立ち齋藤首相、山本內相、倉富樞府議長、湯淺宮相等何れもフロックコートの通常禮裝に喪章を着用して宮中に參內、御儀の間に參入、陛下の出御を待ち奉る

天皇陛下には同十時陸軍式御通常禮裝の御胸間に大勳位副章御佩用、左腕には喪章御着用遊ばされて林式部長官の御前行、牧野內府、鈴木侍從長本庄武官長、侍從同武官供奉して參列諸員最敬禮中を御儀の間正面玉座に着御遊ばされると、內府、侍從長、同武官長、槇切內閣書記官長、大谷宮內次官、宮內書記官順次御間の扉內に候し侍從同武官は扉外に控へて御儀に入る、かくて齋藤首相は謹嚴な足どりも靜かに陛下の御前に參進

內閣總理大臣正二位勳一等功二級齋藤實奏、神宮祭主申昨昭和八年中神宮恒例諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和九年一月四日

と奏上次いで湯淺宮相は

宮內大臣正三位勳一等湯淺倉平奏昨昭和八年中宮中諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和九年一月四日

と奏上陛下には一々御うなづき遊ばされて御聽取、同十一時御儀終了、諸員最敬禮中に入御遊ばされた

大同三年を迎へて 愈よ躍進する"綏化"

近藤縣參事官來奉談

【奉天特電四日發】北滿の寶庫開發に多忙を極め寸暇を有たぬ綏化縣參事官近藤平次郎氏は正月を利用し公私の用務を帶びて來奉したがヤマトホテルで語る

綏化は北滿では既に主要都市の一つであり市民四萬を數へて居る、日本人は未だ數十人にしか達して居ないが舊政權の最高潮だつた中國十六、七年當時の繁榮に達することが出來た、縣民は大同元年の匪禍や水害に苦しんだが二年には非常な豐作で到るところ歡喜に燃えて居る唯豐作のために價額が下落し收入が割合に少なかつたことは事實であるが元年度の如き食ふに困るやうなことはないので喜んで居る、匪賊は追ひ詰められて數十名の者が逃げ迷つて時々縣境から現れることもあるがもう全く問題でなくなつた、將來は滿洲の寶庫だといふことを言ひ度いのであるが實際北滿は穀物に於ても鑛物に於ても實に豐富であり未開拓だ、この開拓に經濟的採算を採り得るやうにすることが重大要件であらうが交通網も第一次の軍事工作に次いでもうそろ〳〵第二次の產業工作にかゝらねばならない事だらう、北滿は今比較的石炭類が少いやうだがこれも無限に存在する小興安嶺よりドシ〳〵掘り出し採り出されることになることだらう、既に一般に知られてゐる如く北滿の小麥は最も良質のものでありその將來は大に期待されてゐる而もその土地は向ふ百年も無肥料で農業に好適であるといふのだから有望な譯だ、拉濱線の開通はハルビンを中心とした北滿にとつて實に大きな發展へのスタートを意味する、北安鎭は日本人二千人を數へるほど急激な發展をしてをり日用品においても全く南滿主要都市と變りはない、今年はいよ〳〵鮮人農民移民の具體化に進みその水田は少くとも一千天地の工作にかゝれるやう總督府より九十パーセントの援助を受けるべく既にハルピン領事館で交涉中である

關東軍司令部 四日初登廳

九日から本格的執務

【新京特電四日發】關東軍司令部では四日午前九時本年の事務始めで菱刈司令官首め全員登廳午後四時退廳したが、五日は新年宴會七日は日曜八日は陸軍始めで休み九日より本格的事務を執ることゝなつた

執政新年賀宴

【新京特電四日發】執政は三日午前十一時より部內勤民樓において政府各機關簡任官以上の要人七十餘名を招待新年の賀宴を設け一時過盛會裡に散會した、尙執政は當日出席者一同に金製藥盒を贈つた

なほ四日午前十一時より友文俱樂部において第四課主催で第四課と軍出入記者聯盟の新年祝賀宴を開催スルメを肴に談笑裡に杯を重ね秋山課長の發聲で帝國の萬歲、關東軍及び友文俱樂部の萬歲を三唱、正午盛會裡に散會した

ロビンソン孃 新京發大連へ

【新京特電四日發】既報シカゴ博滿鐵會館の懸賞に一等當選し十二月二十九日來京したフランシス・ロビンソン孃はヤマトホテルに一泊執政府國務院その他主要機關を歷訪新興國の建設狀況を視察し三十日は川崎外交部宣代司長夫人主催の午餐會に臨み滿洲國側令孃十九名と歡談して滿洲國建設狀況に關する認識を高め外交部から贈られた各種資材に旅囊を肥やして午後四時半發列車にて離京大連に向つた

學生氷上フィガアー成績

【東京四日發國通】二、三兩日日光に行つた學生氷上フィガアー成績左の如し

一等　片山敏一（國院）七六・九
二等　長谷川繼男（慶應）
三等　渡邊音次郎（慶應）

▲各學校總得點

一等	慶應	一〇
二等	關學	一六
三等	明大	二一
四等	早大	三六

▲アイスホッケー

一回戰

明大 四―〇 早大
北大 四―二 東北大

積雪十七尺 百年振りの大雪

裏日本一帶に大吹雪

【東京特電四日發】裏日本一帶は大吹雪の被害に惱まされてゐるが新潟縣東頸城郡地方は積雪十七尺に上りところによつては百年ぶりの大雪といはれてゐる、このため電信電話杜絕し電燈のつかぬところ多く住宅も倒潰するもの尠からず住民は荒れ狂ふ吹雪の中に怯えてゐる、列車もいたるところ立往生し北陸、信越各線のダイヤは支離滅裂となつてゐる

四日初立會の五品市場

香爐礁に 絞殺體

滿人博徒か

三日早朝香爐礁管內第三區內に滿人の怪死體が遺棄してあるのを一滿人が發見屆け出でたが、沙河口署では直に武田警察醫を現場に急行させ臨檢したところ絞殺死體なること判明し年の頃二十七、八歲で相當な身なりをしてゐる等の點から賭博關係からの殺人ではないかと目下大活動を開始してゐる

集金を拐帶逃亡

女給と內地へ驅落か

市內敷島町六番地日光商會村上淸一氏方店員山口縣生れ三並勇二（二三）は十二月二十八日關原に集金に赴き驛前吉川啓一氏方より千五百圓の集金を現金三百圓と殘額千二百圓を約束手形で受取り主人には歸宅する旨打電したまゝ集金を拐帶逃走したので大連署に屆出でた 三並は豫てより市內西通カフエ－白鳥の女給石川ハルの許に通ひつめて居り廿九日夜三並は營口より歸連してカフエ－白鳥に赴き兩人連れ立つて保健浴場に入浴して宿泊を賴んだが斷られたこと判明、またハルはカフエ－白鳥を三十日歸國するとて辭めてゐるところより見て兩人共謀の上內地に逃走したものではないかと見られてゐる

黑龍江教育廳 不良教員淘汰

【チチハル三日發國通】黑龍江省教育廳では今回經費節約と不良教員淘汰の目的を以て去る十二月同省內にある中、小學教員三十九名（內日本人職員二名）に對し罷免を言渡した

臺灣直航（每十日出帆） 基隆、高雄行 山東丸

大連發　一月六日午後四時
基隆着　十日早朝午後出帆
高雄着　十一日午前

	基隆	高雄
特等	六五圓	七五圓
並等	二五圓	二八圓

埠頭廿四區より出帆
廿四區に前切符發賣所あり

大連汽船株式會社　電話七一三一一番

新年の川柳と俳句

大島濤明

元旦

地球がぐるりと一廻りすると又芽出たい元旦が來る、春逝き夏來り秋去り冬終る、何年たつても同じことである、その正月が何が目出度いか、といへばそれまでゝあるが、人間生活の過程を着色する意味に於いて、新年は目出度いものとして置くことはいゝことである一路を歩くにも同樣で只平々坦々たる道路では何の面白味もないがそのうちに坂あり峠あり、小徑あり、大道あり、直あり曲ありで歩く路にも趣味が湧く、朝起くれば飯を食ひ夜が來れば床にもぐる、毎日々々同じことを繰返してゐるばかりでは生きてゐても何等面白味を感ぜぬが、春くれば元旦の喜びあり、節分あり節句あり、夏となれば端午あり盂蘭盆會あり、秋の月明冬の焦躁、たゞ一ヶ年のうちかうした出來事があつて生存に趣味が起り飽きが來なくなる

かゝる意味に於て私は年中行事をよいことゝ思つてゐる、殊に新年の瑞光は人の心を新たにし、來る年への勇氣を奮ひ起させる點に於いて尤もいゝ行事の一だと禮讃する者である、この新年に對する俳人と川柳子の感察を窺ふことも

姫始のなかの瞳氣さましにいゝ　古川柳

元旦といへば心から端然とする太陽を禮拜し、祖先に謝し、萬神に身の幸を希ふ、歲旦の儀はまことに靜肅崇高である、その氣分を俳人は

元日や神代のことも思はるゝ　守武

元日の儀式を照らす灯しかな　波舍

元朝や四つにたゝみし紙衾　蒼虬

と詠んでゐるが川柳では

正月は降りからでもしやちこばり　古川柳

と皮肉つてゐるが元旦の嚴肅さは寧ろ川柳の方が如實に表現してゐる、最も緣起を問ふ元朝の

元日を起きて泣かざる我子哉　四子

の俳句に對し

元日に泣くは七歲未滿なり

と逆襲してゐる、又元旦は一年の計を樹てるといふに對し

元旦や學者とならん志　世六

俳句はこの位の處であるが、川柳ではかう言ひたい

一年に號令をする春となり　濤明

元旦のはかりごとだけ念を入れ　同

歲末に於ける貸借關係の多忙さは川柳の書き入れであるだけ、債鬼を遁れた元日の心事を川柳は見逃さない

元旦にいけしやあ〳〵と甦べり　古川柳

元旦は金で騷がぬ人通り　久坊

元日はまだ恐いから戶を開けず　古川柳

など人間苦を容赦なく突込んでゐるが、俳句では

初日

關の戶の明けぬれば年の旦かな　山梔子

とあつさり片付けてゐる

初日の句で思出すのは內藤先生の我國のものとこそ思へ初日の出　鳴雪

である、この莊嚴のうちに愛國の志を抱き、驪光と情愛とが十七文字に躍動してゐる、この境地に至つては假令川柳の達人と雖も叶ふまいといつも感心する、その外

天の戶に朝寢はあらじ初日影　麥林

日の光り今朝や鰯の頭より　無村

この初日の莊嚴を川柳では

初日の出目先の島が邪魔になり　南丘子

と美しさのその先きの心理を詠んでゐる。序に私の句に

平等に世界が明ける初日の出　濤明

男のダンサー、名は舞踏教師とか先生とかいつて、有閑マダムからは「あたくしのダンスの先生」とか云はれる所謂「先生」方が大連にも非常に多くなつた。

……◇……

このごろ盛んに新聞の社會面を賑はすダンスホールのスキャンダルは主としてこの「先生」方を中心として起つてゐる、新しきものに獵奇を感ずるのが、或る程度近代人の心理狀態かも知れないが、有閑マダムや新しがり屋の藝妓が「先生」に興味を感ずる熱度といつたら、昔歌舞伎役者が持てはやされたと同じ程度だといふ。

……◇……

そこで「先生」方も寢不足勝ちの蒼白い額に水白粉をつけたり黑のメルトンかなんかのダブルを着て、頭髮は無論、眞ン中からペタリと分けて……ホールからホールへと泳ぎ廻り、それで生活が出來るンだから世渡りは樂なもの、同じ「先生」の中でも妻も子もあり「舞踏研究所」なンて看板を揚げ社交ダンスの道德性を論じてゐる先生もあるが、戀愛遊戲の對照となるのは矢張りぐる〳〵踊り廻る宿なし先生に多いさうだ。

各河川流域の著名な金廠

春に因んだ黃金物語（二）

砂金は河の砂に交るものであるからその產地も河の流域によつて大別するのが判り易いが今この方法によつて北滿の產金地をあげると次のごとくになる

一、額爾古納河流域
二、黑龍江流域
三、嫩江流域
四、松花江流域
五、牡丹江流域
六、穆稜河流域
七、圖們江流域

「何だ、北滿の河を全部あげてゐるではないか」といはれる讀者もあらうが、全く俗說の通りでそれだから最初に北滿到るところに金を產するといつたわけである

◇

しかし到るところに金はあつてもその賦存量が乏しく一噸の砂を處理して一錢か二錢しかの金がとれぬとあれば採算上誰も手をつける筈がなく、結局それらの河の流域中、纏まつて金が出るところから開發されるわけだ、滿洲人はかういふ砂金鑛區を金廠と稱してゐる、それでは現在までどんな金廠が有名だつたか？

◇

第一の額爾古納（アルグン）河は黑龍江の上流で吉拉林、奇乾の兩金廠が最も名がある、孰れも前淸時代からロシア人の盜掘に始つたもので、吉拉林は年に六十貫は產してゐたが一九〇九年の際[illegible]事變以來振はず奇乾の方もその鑛區內の白果頭區のごときは民國二年の全盛期には一箇月に八七三貫の產金量あり一大ゴールド・ラッシュを現出したが近年は極めて不振である。

◇

黑龍江の流域地方には著名な金廠が列んで居る、まづ昔滿洲第一と呼ばれた漠河金廠は額爾古納河と什爾喀河との合流點を中心として東西四百支里、南北二百支里の廣大な鑛區でその中心の漠河には縣城も置かれた、この金廠の最盛期は淸朝の光緒八、九年ごろで當時數萬の露支人がこゝに蟠集し彼らだけで一種の國家を形成して二年間に二千二百貫の砂金を盜掘した、これが淸國政府の知るところとなり李鴻章が軍隊を派遣して討伐した事もあり、爾來漠河金鑛局を設けて繼續したが、北滿事變以來警備十分ならず盜掘が多く漸次衰へた、最近は奇乾金廠と共に黑龍江省政府の經營する廣信公司の手に歸してゐたが、露支紛爭の際露軍の蹂躪を受けて未だに復活出來なかつた。

呼瑪金廠も民國六年までは採金夫が一萬三千人も居り年產二百貫を超へたがその後は振はない、古龍幹河金廠（後の餘慶金廠）は民國に入つてから發見されたもので百六匁といふ大金塊が出たことからラッシュの渦卷の中心となり一時は一萬二、三千人の採金夫が蟠集し一箇月に二百貫の金を產した事もある、達源金廠も民國五、六年頃から開かれた產金地で最近までの產金總額は六千貫に達したと推測されてゐる良鑛區である、その他黑龍河流域では大黑河より下流に觀都、太平等の金廠がありいづれも數千の人口を集めた大產金地である。

◇

嫩江の流域は大興安嶺を分水嶺として黑龍江流域に相對するものだがその發見は極めて最近で、卽ち民國十二年邦人伊藤重三郎氏が餘慶金廠の奧を辿れて初めて手をつけた所である、從來支那人は金は大興安嶺も黑龍江側の斜面にあるものとばかり思つてゐたのが伊藤氏のこの壯擧によつて北滿到るところに賦存することが明かとなり、一萬人に近い採金夫が殺到し民國十四年には四百五十貫の產額を示した。

◇

松花江流域地方では左岸に梧桐河及び都魯河の兩金廠が並んで居る、梧桐河は古い產地だが最盛期は大正六、七年ごろで一萬人に近い採金夫が集つてゐた、この金鑛局は曾て米國からドレッヂヤ（採金船）を四十萬元で買込み米人技師を傭つて東洋で最初の米國式科學的採金法を實施しやうとして失敗した記念すべき金廠だ、都魯河金廠も前淸時代から開發され一時は盛んだつたが近年は殆ど駄目だつた、松花江の右岸流域地方には勃利、樺皮、依蘭の三地方の產金地を總稱した名稱で過去の產金總額は三千貫といはれてゐるが近年は匪賊の害で休業同樣となつてゐた、その他穆稜河流域では興隆溝、穆川、圖們江流域では蜂蜜溝、三道溝、八道溝等があり、殊に八道溝は事變後數千の朝鮮人が入り込んで採金してゐる【カットは梧桐河金廠の急造の浴槽、寫眞は都魯河金廠の風呂を樂しむ採金隊員】

息耕亮儀慶應義塾在學中舊臘東京に於て腸チブスに罹り順天堂醫院に入院治療中の處養生不相叶本月一日午前八時四十五分死去致候此段謹告仕候

●本廣告を以て御通知に代へ可申候

追而本月五日うらる丸にて遺骨着連に付葬儀は途中行列を廢し六日午後四時若草山西本願寺に於て執行可仕候

尙乍勝手生花花環等の御供物は御辭退申上候

昭和九年一月五日

父　桝田憲道
親族總代　長倉親義
　　田所耕耘
　　佐藤至誠
友人總代　高田友吉
　　平井大次郎
　　鹿野千代樋
　　貝瀨謹吾

女の部屋 (53)

林芙美子作　一木弴畫

情火（一四）

何時の間にかすう／＼に引きこまれた眠りは、うなされる様な重苦しいものだつた。
頭が燃える様に熱い。動悸の度にずきん／＼こめかみが痛む。智子の眼は腫れ上つてゐた。
眼が覺めたのは九時頃だつたが恰度日曜日だつたし、身體中がだるいので、起き出やうともせずに智子は床の中で仰向けになつて、や、靜まつた氣持でも一度昨夜の出來事を考へ直して見た。
彼女は持ち去られた處女性などに就ては少しも愛惜を感じては居なかつた。只、もつと樂しい、もつと香はしい、もつと幽しいものだとばかり空想してゐた事の、餘りにも理想と相違した實際に、激しい嫌惡を感じはじめてゐるのだつた。
秋山を憎んでゐるのでもなければ、自分自身を蔑すんでゐるのでもない、只男も女も引くるめて、あんな厭はしい營みをしなければならぬ人間が憎く恥ましかつた。

秋山は、鋭く詰問する様な眼で無言のまゝ睨みつける智子の樣子を、態と無視した樣に、快活に云つた。
――お早う、三十分位待つてたのよ。御機嫌如何？
そして彼女を自分の腕に抱き取らうとした。智子はきびしくその手を拂ふと、二三歩後退りした。
――いけません、歸つて下さい
秋山も二三歩進んで戸の中に入つた。
――疲れてれば歸つてもい、けど、昨夜は君があんな風で話す暇もなかつたから、今朝にしたんだが、一應話だけしておき度いと思つてね。
――妾お話なんかありませんわ
秋山は一寸不快さうな顏をして
――そんな調子で物を云ふなんて、止し給へ、みつともない！
と叱る樣に云つた。
智子は、張りつめてゐた氣持がまたも意氣地なくも崩れ立つて行くのを感じて首垂れた、自分でも口惜しく思ひながら、何さなく威壓されて了ふのであつた。
秋山は先に立つて智子の室へ入つて行つて、まだ片付けてない布團の端の處に立ち止つて智子が入つて來るのを待つてゐた。

（社を止め様か？でもどうして食べて行く？それに社を止めても男は他にまだ澤山ゐる事だし……）
そんな事を考へてゐる時彼女はふつと土方の事を思ひ出して、ドギツと心臟が止る樣な思ひをした。轉動してすつかり忘れてゐた土方だが、彼女が想つてゐたのはあの男ではなかつたのか？
智子は觀念する樣に目を瞑つた網膜に大きく映つた土方の顏は、然し次第に底の方から浮び上つて來て益々濃く、はつきりとして來る秋山の顏に蠶食されて、影薄く片々になつて消え去つて了つた。
柱時計が十一時を打つたので、智子は半病人の樣に力なく起き上つて、先づ窓を開け放つた。
新鮮な秋の空氣が、彼女の頰を快よく撫でて流れ込んで來る。何かの小鳥が何處かでキキと鳴いた。
智子は暫くの間、澄み渡つた秋空に白く柔かく浮動する綿雲に見入つてゐたが、寢亂れ髮を直しながら玄關に行つて鍵を外した、と途端に和服の男が彼女と面を接して立つた。
ギヨツとする迄もなくそれは秋山だつた。

新年俳句

島田青峰選

月落ちて御神燈ゆらぐ初詣　奉天 大川 小雪
元日や禮者來ず賀狀二三枚　小平島 富部 悠生
元日や短册古りて壁にあり
初凪や汀靜にかもめ浮く
二重窓の外は雪なり福壽草　安東 岩間 淩雪
海原のはてより赤く初日の出　大連 菅野モト子
初日かげ忠靈塔を照しけり　周水子 喜代女
獅子舞の犬の睡りをさましけり　大連 糸賀 正子
陽のさしてゐる初風呂にひたりけり　鐵嶺 梅林 朗哉
社頭いま濃き影に浮く初明り　煙臺 中川 壽香
元日の鳩に豆やる兵士かな
日滿のサイン並びし賀狀かな　周水子 芝勢 似光
大河の結氷白し初明り　大連 宇都宮鳳翠
追羽子の音ひびきなり領事館
蔦の輪に初空高う定まりぬ　大連 青海波
門松に犬戯れる朝哉
灯を少し下げて向ふや初鏡　大連 宮田 江雪
猿曳の厨覗いて去りにけり　撫順 山西風茶坊
初明り雪に影置く大鳥居
枇杷の花白々明けて初雀
樋の口の石蕗ほの白し初雀　旅順 石井未成庵
元日や社頭の杉に雪重し　大連 占部 靜閑
大雪の夜は更けて行く歌留多哉
鐵道の警備に明けし初日哉　撫順 橋本喜久太
雪一つなきこの浦や初烏　大連 中島 璞斗
元朝や心ばかりの御燈明　大連 清水 辰雄
初日の出曠野の果の塔の上　大連 今宮 樂靜
ふる里の山なつかしき初日かな　大連 花崎蕉村子
苔の香を汲む山の井の初日かな
初空をうつして湖の青さ哉

新年川柳

犬　編輯局選

遠吠えの一しほ淋し雪の夜　大連 河東美津雄
非常時の犬殊勳をかたる犬の墓　昌圖 浦上 風流
書留へ吠えつく犬を詫びてゐる　撫順 石川小冠者
愛犬の運動へ出るい、暮し
犬にまで世辭をいつてる御用聞き　大連 外山 角照
番犬にそつと口笛吹いて過ぎ　大連 船橋 默山
遠吠えに警戒線は緊張し　大連 武田 留吉
勝ち戰軍用犬もうれしさう　奉天 西田柿の家
衆目を愚にして街の犬のエロ
遠吠えの犬へ枕がよく動き　大阪 松元 重治
ランデブー犬が覺えのある男　撫順 坂本 草人
子がなくて犬を抱く身の淋しさ　大連 寺山青々庵
滿人の警備と頼む犬の數
先づ犬を褒めよと小僧教へられ　大連 中川知美子
犬の戀ちさ持てあます女學校
討匪行犬先登をきつて驅け　遼陽 杉田半生棒
セパードの殊勳美談の内に入れ
犬に子を產ませて夫婦子が出來す　大連 渡邊 雨明
獵季まで犬懸命に無駄を喰ひ
セパードが來てから夜警首となり　開原 古市 贅六
犬年の笑顏の新妓よくも賣れ
巡察と共に軍犬眼は光り　大連 光石 榮子
分娩に飽いてチンコロ膝で飼ひ
功績章つけてもやつぱり犬の顏　仲山 上田 烏嘲
新聞屋遠くて投げるブルドツク　大連 今中 市郎
後家の犬男見るたび吠え廻り　安東縣 中島 清次
髮を結ふ間もお妾犬を抱き
ブルドツク非常時さいふ顏でくる　京城 中水れい果
犬抱いて女は外に用がなし
首卷のキツネへ仔犬吠えかゝり　大連 畠中 充穗
初刷の口繪に犬はかしこまり　撫順 日高阿喜良
禮服は喜ぶ犬を叱りつけ
犬が來て舞妓されいな顏へ泣き
ルンペンの心も知らず犬はざれ　大連 杉田 佳
負けた子は口笛吹いて犬を呼び　大連 松添 庸夫
名犬の價に夜業の賑やかさ　新京 片寄 美城
義理の親意見をするに犬のこと
掛取のごなり込めない犬が居る　大連 宇都宮鳳翠
遣羽子を蹄らして犬のつそりと
萬歳の叩こうとして犬が居る
心中の二人へ犬が邪魔になり　京城 田代 芳生
番犬にされて小さく箱に住み
母親は玩具の犬を持つて吠え　大連 中川 虚舟
非常時の犬の名前も陸奥長門　旅順 土橋 良成
犬の藝欲しくてならぬい、匂ひ
手内職犬の遠吠え胸さわぎ　大連 渡邊 斌
犬猫に劣る息子を僞ぶ雪　仁川 淡路歎波臆
日向ぼこ犬の體溫觸びるやう　大連 渡邊あきら
野良犬と馴れて就職緣遠し
子が一人欲しい暮しに犬の幸
木に登ることも軍犬鍊へられ　青島 正木 琴舟
獵犬の犻へシエパート牙を立て
兵卒を恭してる軍用犬